

『 公共建築工事積算基準等資料 』

【令和 8 年改定部分 対比表】

岩手県県土整備部

改 定 後	改 定 前
<p>第 1 編～第 2 編 （略）</p> <p>第 3 編 共 通 費</p> <p>第 1 章 共 通 事 項</p> <p>1 ～ 2 （略）</p> <p>3 建築工事、電気設備工事、機械設備工事及び昇降機設備工事のいずれかの主たる工事と主たる工事以外の工事を一括して発注する場合の算定</p> <p>（1）建築工事、電気設備工事、機械設備工事及び昇降機設備工事のいずれかの主たる工事と主たる工事以外の工事の場合</p> <p>イ． 共通仮設費率、現場管理費率及び一般管理費等率は、それぞれ以下のとおりとする。なお、主たる工事とは発注時の工事種別をいう。</p> <p>（イ） 共通仮設費は、それぞれの工事種別ごとの共通仮設費に関する定めにより算定し、それらの合計による。なお、積み上げによる共通仮設費は、それぞれの工事種別ごとに区分して計上する。</p> <p>（ロ） 現場管理費は、それぞれの工事種別ごとの現場管理費に関する定めにより算定し、それらの合計による。なお、積み上げによる現場管理費は、それぞれの工事種別ごとに区分して計上する。</p> <p>（ハ） 一般管理費等は、それぞれの工事種別 <u>ごとの工事原価に対する</u> 工事の一般管理費等率により算定 <u>し、それらの合計による。</u></p> <p>ロ． 主たる工事以外のいずれかの工事が、工事内容及び工事費から適切と判断出来る場合は、当該工事を主たる工事に含め、主たる工事の定めにより共通仮設費及び現場管理費を算定することができる。</p> <p>ハ． 共通費の算定方法は、設計図書の変更があった場合においても、原則として変更しない。</p> <p>4 ～ 9 （略）</p> <p>第 2 章 共 通 仮 設 費</p> <p>1 共通仮設費の区分</p> <p>共通仮設費は、建築工事、電気設備工事、機械設備工事及び昇降機設備工事のそれぞれと処分費に区分して算定する。</p> <p>2 共通仮設費の算定方法</p> <p>（1）共通仮設費の算定は共通仮設費率により算定する。ただし、共通仮設費率に含まれないものは積み上げにより算定する。</p> <p>イ． （略）</p> <p>ロ． 積み上げによる算定</p>	<p>第 1 編～第 2 編 （略）</p> <p>第 3 編 共 通 費</p> <p>第 1 章 共 通 事 項</p> <p>1 ～ 2 （略）</p> <p>3 建築工事、電気設備工事、機械設備工事及び昇降機設備工事のいずれかの主たる工事と主たる工事以外の工事を一括して発注する場合の算定</p> <p>（1）建築工事、電気設備工事、機械設備工事及び昇降機設備工事のいずれかの主たる工事と主たる工事以外の工事の場合</p> <p>イ． 共通仮設費率、現場管理費率及び一般管理費等率は、それぞれ以下のとおりとする。なお、主たる工事とは発注時の工事種別をいう。</p> <p>（イ） 共通仮設費は、それぞれの工事種別ごとの共通仮設費に関する定めにより算定し、それらの合計による。なお、積み上げによる共通仮設費は、それぞれの工事種別ごとに区分して計上する。</p> <p>（ロ） 現場管理費は、それぞれの工事種別ごとの現場管理費に関する定めにより算定し、それらの合計による。なお、積み上げによる現場管理費は、それぞれの工事種別ごとに区分して計上する。</p> <p>（ハ） 一般管理費等は、それぞれの工事種別 <u>の工事原価の合計額に対する主たる</u> 工事の一般管理費等率により算定 <u>する。</u></p> <p>ロ． 主たる工事以外のいずれかの工事が、工事内容及び工事費から適切と判断出来る場合は、当該工事を主たる工事に含め、主たる工事の定めにより共通仮設費及び現場管理費を算定することができる。</p> <p>ハ． 共通費の算定方法は、設計図書の変更があった場合においても、原則として変更しない。</p> <p>4 ～ 9 （略）</p> <p>第 2 章 共 通 仮 設 費</p> <p>1 共通仮設費の区分</p> <p>共通仮設費は、建築工事、電気設備工事、機械設備工事及び昇降機設備工事のそれぞれと処分費に区分して算定する。</p> <p>2 共通仮設費の算定方法</p> <p>（1）共通仮設費の算定は共通仮設費率により算定する。ただし、共通仮設費率に含まれないものは積み上げにより算定する。</p> <p>イ． （略）</p> <p>ロ． 積み上げによる算定</p>

改 定 後	改 定 前
<p>以下の項目については、共通仮設費率に含まれないため、設計図書等に基づき積 み上げにより算定する。</p> <p>(イ) ～ (ハ) (略)</p> <p>(二) 環境安全費</p> <p>交通誘導・安全管理等の要員に要する費用（工事現場（施設）の警備に要する警備要員、機械警備及び交通誘導警備員に要する費用）、<u>引込み用開閉器の二次側の架空線防護に要する費用</u>、台風等災害に備えた災害防止対策に要する費用のうち、大規模な台風等の風災害対策として、足場の防護シートの全面掛払い、防音パネルの全面掛払い等、受発注者間の協議に基づき設計図書に記載される災害防止対策に要する費用</p> <p>(ホ) ～ (ヌ) (略)</p> <p>(2) (略)</p> <p>第3章～第4章 (略)</p>	<p>以下の項目については、共通仮設費率に含まれないため、設計図書等に基づき積 み上げにより算定する。</p> <p>(イ) ～ (ハ) (略)</p> <p>(二) 環境安全費</p> <p>交通誘導・安全管理等の要員に要する費用（工事現場（施設）の警備に要する警備要員、機械警備及び交通誘導警備員に要する費用）、台風等災害に備えた災害防止対策に要する費用のうち、大規模な台風等の風災害対策として、足場の防護シートの全面掛払い、防音パネルの全面掛払い等、受発注者間の協議に基づき設計図書に記載される災害防止対策に要する費用</p> <p>(ホ) ～ (ヌ) (略)</p> <p>(2) (略)</p> <p>第3章～第4章 (略)</p>

改定後	改定前
<p>第 4 編 単価、価格等</p> <p>第 1 章 共通事項</p> <p>1～3 (略)</p> <p>4 <u>専門工事業者等の諸経費の率</u></p> <p><u>(1) 専門工事業者等の諸経費の率は中間値を標準とし、地域の特殊性等を考慮のうえ適切に定める。</u></p> <p><u>(2) 歩掛りによらず計上する労務単価については、原則として、専門工事業者等の諸経費の労務費の率を乗ずる。</u></p> <p><u>(3) 歩掛りの表中にない材料費、消耗材料費等について、専門工事業者等の諸経費の率の取扱いは、以下による。</u></p> <p><u>イ. 建築新営工事における鉄筋及びコンクリートについては、原則として、専門工事業者等の諸経費の率の対象外とする。</u></p> <p><u>ロ. 機械設備工事における空気調和機器^{*1}、衛生器具及び衛生設備機器^{*2}については、原則として、専門工事業者等の諸経費の率の対象外とする。</u></p> <p><u>※1 ボイラー、冷凍機、冷却塔、空気調和機、空気清浄装置、全熱交換器、ポンプ類、送風機、タンク類、ヘッダー等</u></p> <p><u>※2 ボイラー、温水発生機、タンク類、ポンプ類、厨房器具、湯沸器類等</u></p> <p><u>ハ. 共通仮設費に積上げとなるクレーンについては、原則として、専門工事業者等の諸経費の率の対象外とする。</u></p> <p><u>ニ. なお、専門工事業者等の諸経費の率の対象外とした材料費、消耗材料費等であっても、工事量が少量・僅少の場合や地域の実状等から、専門工事業者等の諸経費を計上することが妥当と判断できる場合は、専門工事業者等の諸経費の率を乗ずることができる。</u></p> <p>5～13 (略)</p>	<p>第 4 編 単価、価格等</p> <p>第 1 章 共通事項</p> <p>1～3 (略)</p> <p>4 <u>「その他」の率</u></p> <p><u>歩掛りの「その他」の率は中間値+1%を標準*とし、地域の特殊性等を考慮のうえ適切に定める。</u></p> <p><u>※墜落制止用器具の費用を含めた環境安全費の計上分として1%を加算。対象は単価基準の表3-1-1～3に示された工種とする。</u></p> <p><u>なお、交通誘導警備員等の率の設定がされていない工種等については、本来事業者が負担すべき法定福利費相当額、環境安全費及びや会社経費を適切に反映した率を設定する。</u></p> <p>5～13 (略)</p>

改定後	改定前
<p>第 2 章 建築工事</p> <p>第 1 節 新営工事</p> <p>第 1 項 仮 設</p> <p>1 (略)</p> <p>2 単価、価格等</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 直接仮設</p> <p>イ. ～ ニ. (略)</p> <p>ホ. 災害防止</p> <p>(イ) 外部足場等に架設される災害防止（金網類、シート・ネット類）の存置期間は、足場平均存置日数から10日を減じた期間とする。</p> <p>(ロ) 安全手すりの存置期間は、表A1-4「足場平均存置日数」の階数1の日数とする。</p> <p>ヘ. ～ ト. (略)</p> <p>表 A1 - 1 ～ 表 A1 - 5 (略)</p> <p>第 2 項～第 3 項 (略)</p> <p>第 4 項 鉄 筋</p> <p>1 一般事項</p> <p>細目工種は、単価基準によるほか表A4-1による。</p> <p>2 単価、価格等</p> <p>(1) 鉄筋資材単価</p> <p>スクラップ単価は、物価資料の掲載価格のうち規格「鉄屑 へビー H2」とする。</p> <p>なお、鉄筋屑等のスクラップ数量は、所要数量から設計数量を差し引いた数量の70%とする。</p> <p>(2) 鉄筋加工組立</p> <p>イ. 工場管理費は、中間値を標準とする。なお、地域性などにより実状が異なる場合は、この</p>	<p>第 2 章 建築工事</p> <p>第 1 節 新営工事</p> <p>第 1 項 仮 設</p> <p>1 (略)</p> <p>2 単価、価格等</p> <p>(1) (略)</p> <p>(2) 直接仮設</p> <p>イ. ～ ニ. (略)</p> <p>ホ. 災害防止</p> <p>(イ) 外部足場等に架設される災害防止（金網、シート等）の存置期間は、足場平均存置日数から10日を減じた期間とする。</p> <p>(ロ) 安全手すりの存置期間は、表A1-4「足場平均存置日数」の階数1の日数とする。</p> <p>ヘ. ～ ト. (略)</p> <p>表 A1 - 1 ～ 表 A1 - 5 (略)</p> <p>第 2 項～第 3 項 (略)</p> <p>第 4 項 鉄 筋</p> <p>1 一般事項</p> <p>細目工種は、単価基準によるほか表A4-1による。</p> <p>2 単価、価格等</p> <p>(1) 鉄筋資材単価</p> <p>スクラップ単価は、物価資料の掲載価格のうち規格「鉄屑 へビー H2」とする。</p> <p>なお、鉄筋屑等のスクラップ数量は、所要数量から設計数量を差し引いた数量の70%とする。</p> <p>(2) 鉄筋加工組立</p> <p>イ. 工場管理費は、中間値を標準とする。なお、地域性などにより実状が異なる場合は、この</p>

改定後	改定前
<p>限りでない。</p> <p>ロ. RCラーメン構造 階高3.5～4.0m程度 形状単純の加工及び組立において細物とはD16以下、太物とはD19以上とする。また、太物と細物の構成比は40:60程度を標準とする。</p> <p>ハ. 鉄筋現場加工・組立は、鉄筋工場加工・組立のベース単価の歩掛りを用い、労務歩掛り(工場加工相当分)に1.20を乗じるとともに、工場管理費を含めないで算定する。なお、これによりがたい場合は専門工事業者の見積価格等による。</p> <p>ニ. 梁貫通孔補強鉄筋現場加工は、梁貫通孔補強鉄筋工場加工の標準歩掛りを用い、労務歩掛りに太物は1.58、細物は1.38を乗じるとともに、工場管理費を含めないで算定する。なお、これによりがたい場合は専門工事業者の見積価格等による。</p> <p>ホ～ヘ. (略)</p> <p>(3)～(4) (略)</p>	<p>限りでない。</p> <p>ロ. RCラーメン構造 階高3.5～4.0m程度 形状単純の加工及び組立において細物とはD16以下、太物とはD19以上とする。また、太物と細物の構成比は40:60程度を標準とする。</p> <p>ハ. 鉄筋現場加工は、鉄筋工場加工のベース歩掛りを用い、労務歩掛りに1.20を乗じるとともに、工場管理費は含めないで算定する。なお、これによりがたい場合は専門工事業者の見積価格等による。</p> <p>ニ. 梁貫通孔補強鉄筋現場加工は、梁貫通孔補強鉄筋工場加工の標準歩掛りを用い、労務歩掛りに太物は1.58、細物は1.38を乗じるとともに、工場管理費は含めないで算定する。なお、これによりがたい場合は専門工事業者の見積価格等による。</p> <p>ホ～ヘ. (略)</p> <p>(3)～(4) (略)</p>
<p>第5項～第19項 (略)</p>	<p>第5項～第19項 (略)</p>
<p>第20項 植 栽</p>	<p>第20項 植 栽</p>
<p>1 一般事項</p>	<p>1 一般事項</p>
<p>(1) 建築工事における構内植栽工事に適用する。また、屋上緑化に関しては植栽工事と区別して計上する。</p> <p>(2) 屋上緑化のうち「屋上緑化システム」の樹木費、植付け及び支柱に関する費用は、単価基準により計上する。</p> <p>(3) 屋上緑化のうち「屋上緑化軽量システム」に関しては、樹木費を含めたユニットとして計上する。</p>	<p>(1) 建築工事における構内植栽工事に適用する。また、屋上緑化に関しては植栽工事と区別して計上する。</p> <p>(2) 屋上緑化のうち「屋上緑化システム」の樹木費、植付け及び支柱に関する費用は、単価基準により計上する。</p> <p>(3) 屋上緑化のうち「屋上緑化軽量システム」に関しては、樹木費を含めたユニットとして計上する。</p>
<p>2 単価、価格等</p>	<p>2 単価、価格等</p>
<p>(1) 樹木費</p> <p><u>樹木費については、専門工事業者等の諸経費の率を乗ずる対象(歩掛りの区分:労以外)とする。</u></p> <p>(2) 植付け</p> <p>単価基準 第2編第1章第2.2節による植付けには、植穴掘り、植付け、埋戻し及び養生までを含む。</p>	<p>(1) 樹木費</p> <p><u>物価資料の掲載価格を使用する場合の新植樹木の枯補償費等は、単価基準 第1編3表3-1-1(注)2による。</u></p> <p>(2) 植付け</p> <p>単価基準 第2編第1章第2.2節による植付けには、植穴掘り、植付け、埋戻し及び養生までを含む。</p>
<p>第2節 改修工事</p>	<p>第2節 改修工事</p>
<p>第1項～第7項 (略)</p>	<p>第1項～第7項 (略)</p>

改定後

第8項 耐震改修

1 一般事項

細目工種は、表A21-1及び表A21-2による。

2 単価、価格等

(1) 鉄筋工事

第4編第2章第1節第4項による。ただし、鉄筋加工組立の細目工種は、耐震改修で使用する場合に標準的な鉄筋と構成比が異なるため本項による。

なお、鉄筋運搬用トラックの規格は4t車を標準とする。

(2) コンクリート工事

第4編第2章第1節第5項による。

(3) 型枠工事

イ. 型枠の細目工種は、耐震改修で使用する場合に標準的な型枠と構成比が異なるため本項による。

ロ. 型枠運搬の細目工種は、第4編第2章第1節第6項による。

(4) 鉄骨工事

第4編第2章第1節第7項による。

表 A 21 - 1 補正単位施工単価

細目	摘要	単位	備考
鉄筋加工組立	耐震改修用	t	

表 A 21 - 2 補正単位施工単価

細目	摘要	単位	備考
普通合板型枠	耐震改修用 地下軸部	m ²	
普通合板型枠	耐震改修用 地上軸部	m ²	
打放し合板型枠	耐震改修用 地下軸部 A種	m ²	
打放し合板型枠	耐震改修用 地下軸部 B種	m ²	
打放し合板型枠	耐震改修用 地下軸部 C種	m ²	
打放し合板型枠	耐震改修用 地上軸部 A種	m ²	
打放し合板型枠	耐震改修用 地上軸部 B種	m ²	
打放し合板型枠	耐震改修用 地上軸部 C種	m ²	

第9項 (略)

改定前

第8項 耐震改修

1 一般事項

細目工種は、表A21-1及び表A21-2による。

2 単価、価格等

(1) 鉄筋工事

第4編第2章第1節第4項による。ただし、鉄筋加工組立の細目工種は、耐震改修で使用する場合に標準的な鉄筋と構成比が異なるため本項による。

なお、鉄筋運搬用トラックの規格は4t車を標準とする。

(2) コンクリート工事

第4編第2章第1節第5項による。

(3) 型枠工事

イ. 型枠の細目工種は、耐震改修で使用する場合に標準的な型枠と構成比が異なるため本項による。

ロ. 型枠運搬の細目工種は、第4編第2章第1節第6項による。

(4) 鉄骨工事

第4編第2章第1節第7項による。

表 A 21 - 1 補正単位施工単価

細目	摘要	単位	備考
鉄筋加工組立	耐震改修用	t	

表 A 21 - 2 補正単位施工単価

細目	摘要	単位	備考
普通合板型枠	壁式構造 基礎部	m²	
普通合板型枠	耐震改修用 地下軸部	m ²	
普通合板型枠	耐震改修用 地上軸部	m ²	
打放し合板型枠	耐震改修用 地下軸部 A種	m ²	
打放し合板型枠	耐震改修用 地下軸部 B種	m ²	
打放し合板型枠	耐震改修用 地下軸部 C種	m ²	
打放し合板型枠	耐震改修用 地上軸部 A種	m ²	
打放し合板型枠	耐震改修用 地上軸部 B種	m ²	
打放し合板型枠	耐震改修用 地上軸部 C種	m ²	

第9項 (略)

第3章 電気設備工事

第1節 新営工事

第1項 共通工事

1 一般事項

- (1) 補正市場単価は、第4編第1章5により算出し、その算定式は附表1による。
 (2) 補正単位施工単価は、第4編第1章6により算出し、その算定式は附表2による。

2 単価、価格等

(1) 配管工事

- イ. 配管工事の細目工種は、単価基準によるほか表E1-1による。
 ロ. 複合単価、市場単価、補正市場単価及び補正単位施工単価は、作業上の切り無駄、支持材、消耗品、附属品、雑材料、配管等の施工上の迂回等を含む。
 ハ. ボンディングは電力用の場合に計上し、鋼製電線管、金属製位置ボックス（金属管用露出を除く。）及び金属製可とう電線管（接地線を使用しない場合。）に適用する。
 ニ. 耐震支持など特別な支持を行う場合は、支持材を加算する。
 ホ. BS形ケーブルラック（立上り配線専用両面形）の所要量は、割増しを行わない。
 ヘ. 1種金属線びの附属品及びボックス類は、別途計上する。
 ト. 金属ダクトのつり金具等の支持材は、別途計上する。
 チ. 電力用プルボックスは、プルボックス用接地端子を計上する。
 リ. 位置ボックスは、代表的なボックスに置換えて計上する。

(2) 配線工事

- イ. 配線工事の細目工種は、単価基準によるほか表E1-2 及び表E2-1による。
 ロ. 複合単価、市場単価及び補正市場単価は、作業上の切り無駄、支持材、消耗品、雑材料、電線等の施工上の迂回等を含む。

ハ. ～ ル. (略)

(3) ～ (8) (略)

表 E1 - 1 (略)

第3章 電気設備工事

第1節 新営工事

第1項 共通工事

1 一般事項

補正市場単価は、第4編第1章5により算出し、その算定式は附表E1～附表E25による。

2 単価、価格等

(1) 配管工事

- イ. 配管工事の細目工種は、単価基準によるほか表E1-1による。
 ロ. 複合単価、市場単価 及び補正市場単価は、作業上の切り無駄、支持材、消耗品、附属品、雑材料、配管等の施工上の迂回等を含む。
 ハ. ボンディングは電力用の場合に計上し、鋼製電線管、金属製位置ボックス（金属管用露出を除く。）及び金属製可とう電線管（接地線を使用しない場合。）に適用する。
 ニ. 耐震支持など特別な支持を行う場合は、支持材を加算する。
 ホ. BS形ケーブルラック（立上り配線専用両面形）の所要量は、割増しを行わない。
 ヘ. 1種金属線びの附属品及びボックス類は、別途計上する。
 ト. 金属ダクトのつり金具等の支持材は、別途計上する。
 チ. 電力用プルボックスは、プルボックス用接地端子を計上する。
 リ. 位置ボックスは、代表的なボックスに置換えて計上する。

(2) 配線工事

- イ. 配線工事の細目工種は、単価基準によるほか表E1-2による。
 ロ. 複合単価、市場単価及び補正市場単価は、作業上の切り無駄、支持材、消耗品、雑材料、電線等の施工上の迂回等を含む。

ハ. ～ ル. (略)

(3) ～ (8) 略

表 E1 - 1 (略)

改定後				改定前			
表 E1 - 2 補正市場単価 【配線工事】				表 E1-2 補正市場単価 【配線工事】			
細目	摘要	単位	備考	細目	摘要	単位	備考
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 1.0~1.2mm、2.6mm	m		600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 1.0~1.2mm、2.6mm	m	
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 2~3.5mm ² 、150~325mm ²	m		600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) 管内配線 2~3.5mm ² 、150~325mm ²	m	
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 1.2~325mm ²	m		600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) 管内配線 1.2~325mm ²	m	
600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) PF及びびCD管内配線 1.0~325mm ²	m		600V絶縁電線	600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) PF及びびCD管内配線 1.0~325mm ²	m	
600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) PF及びびCD管内配線 1.2~325mm ²	m		600V絶縁電線	600V二種ビニル絶縁電線 (HIV) PF及びびCD管内配線 1.2~325mm ²	m	
表 E2 - 1 補正単位施工単価 【配線工事】				表 E2-1 補正単位施工単価 【配線工事】			
細目	摘要	単位	備考	細目	摘要	単位	備考
600V絶縁ケーブル	600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル (EM-EEF) ころがし配線 2.6mm-2C・3C	m		600V絶縁ケーブル	600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル (EM-EEF) ころがし配線 2.6mm-2C・3C	m	
600V絶縁ケーブル	600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル (EM-EEF) 木造部分にサドル止め又はステップ止め 1.6~2.6mm-2C・3C	m		600V絶縁ケーブル	600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル (EM-EEF) 木造部分にサドル止め又はステップ止め 1.6~2.6mm-2C・3C	m	
600V絶縁ケーブル	600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル (EM-EEF) コンクリート部分にサドル止め (カルブラック含む) 1.6~2.6mm-2C・3C	m		600V絶縁ケーブル	600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル (EM-EEF) コンクリート部分にサドル止め (カルブラック含む) 1.6~2.6mm-2C・3C	m	
600V絶縁ケーブル	600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル (EM-EEF) ケーブルラック内配線 1.6~2.6mm-2C・3C	m		600V絶縁ケーブル	600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル (EM-EEF) ケーブルラック内配線 1.6~2.6mm-2C・3C	m	
600V絶縁ケーブル	600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル (EM-EEF) 管内配線 1.6~2.6mm-2C・3C	m		600V絶縁ケーブル	600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル (EM-EEF) 管内配線 1.6~2.6mm-2C・3C	m	
600V絶縁ケーブル	600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル (EM-EEF) PF及びびCD管内配線 1.6~2.6mm-2C・3C	m		600V絶縁ケーブル	600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル (EM-EEF) PF及びびCD管内配線 1.6~2.6mm-2C・3C	m	
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル (EM-EEFG) ころがし配線 2.0~2.6mm-2C+1.6mm-1C	m		アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル (EM-EEFG) ころがし配線 2.0~2.6mm-2C+1.6mm-1C	m	
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル (EM-EEFG) 木造部分にサドル止め又はステップ止め 2.0~2.6mm-2C+1.6mm-1C	m		アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル (EM-EEFG) 木造部分にサドル止め又はステップ止め 2.0~2.6mm-2C+1.6mm-1C	m	
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル (EM-EEFG) コンクリート部分にサドル止め (カルブラック含む) 2.0~2.6mm-2C+1.6mm-1C	m		アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル (EM-EEFG) コンクリート部分にサドル止め (カルブラック含む) 2.0~2.6mm-2C+1.6mm-1C	m	
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル (EM-EEFG) ケーブルラック内配線 2.0~2.6mm-2C+1.6mm-1C	m		アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル (EM-EEFG) ケーブルラック内配線 2.0~2.6mm-2C+1.6mm-1C	m	
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル (EM-EEFG) 管内配線 2.0~2.6mm-2C+1.6mm-1C	m		アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル (EM-EEFG) 管内配線 2.0~2.6mm-2C+1.6mm-1C	m	
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル (EM-EEFG) PF及びびCD管内配線 2.0~2.6mm-2C+1.6mm-1C	m		アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vポリエチレン絶縁耐燃性ポリエチレンシースケーブル (EM-EEFG) PF及びびCD管内配線 2.0~2.6mm-2C+1.6mm-1C	m	

改 定 後	改 定 前
<p>第2項 (略)</p> <p>第3項 通信・情報設備工事</p> <p>1 単価、価格等</p> <p>(1) 構内交換設備 集合保安器箱に保安器本体を取付ける場合は、別途計上する。</p> <p>(2) 情報表示・拡声設備 アナログ子時計及びデジタル子時計が天井つり下げ形又はブラケット形の場合は、壁掛形の所要量を適用する。</p> <p>(3) 誘導支援設備 トイレ呼出表示器及びトイレ呼出ボタンは、単価基準 第3編第1章第3節 表E1-3-7を適用する。</p> <p>(4) 火災報知設備 防火シャッター、防煙ダンパー、防煙たれ壁、排煙口等への接続は、結線費を計上する。</p> <p>(5) テレビ電波障害防除設備 対象戸数及び地域の電波状況に応じた方式であることを確認し、施工条件を明示した見積書の価格を参考に、機器・材料単価、据付費、試験調整費等の工事費を算定する。 なお、工事期間中に仮設アンテナを使用する方式にあっては、別途計上する。</p> <p>第2節 (略)</p>	<p>第2項 (略)</p> <p>第3項 通信・情報設備工事</p> <p>1 単価、価格等</p> <p>(1) 構内交換設備 集合保安器箱に保安器本体を取付ける場合は、別途計上する。</p> <p>(2) 情報表示・拡声設備 アナログ子時計及びデジタル子時計が天井つり下げ形又はブラケット形の場合は、壁掛形の所要量を適用する。</p> <p>(3) 誘導支援設備 イ. トイレ呼出表示器及びトイレ呼出ボタンは、単価基準 第3編第1章第3節 表E1-3-7を適用する。 ロ. テレビインターホン子機は、インターホン子機の所要量を適用する。</p> <p>(4) 火災報知設備 防火シャッター、防煙ダンパー、防煙たれ壁、排煙口等への接続は、結線費を計上する。</p> <p>(5) テレビ電波障害防除設備 対象戸数及び地域の電波状況に応じた方式であることを確認し、施工条件を明示した見積書の価格を参考に、機器・材料単価、据付費、試験調整費等の工事費を算定する。 なお、工事期間中に仮設アンテナを使用する方式にあっては、別途計上する。</p> <p>第2節 (略)</p>

改定後	改定前
<p>第4章 機械設備工事</p> <p>第1節 新営工事</p> <p>第1項 共通工事</p> <p>1 一般事項</p> <p>補正市場単価は、第4編第1章5市場単価の補正により算出し、その算定式は附表<u>1</u>による。</p> <p>2 単価、価格等</p> <p>(1) 配管工事</p> <p>イ. 外壁や屋上の配管は、「屋内一般配管」として扱い、配管支持架台は別途計上する。</p> <p>ロ. 屋内の地中埋設配管は、施工場所により「屋内一般配管」又は「機械室・便所配管」として扱う。</p> <p>ハ. 配管の単価は、定尺の管単価を定尺長さで除したものとする。</p> <p>ニ. 次の配管の歩掛りは、協議会歩掛りによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給水 塩ビライニング鋼管 (SGP-VD) (単価基準 表M1-1-9以外の施工箇所) ・給水 ポリ粉体ライニング鋼管 (SGP-PD) (単価基準 表M1-1-3以外の施工箇所) ・給湯 耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管 (HTVP) (給水 耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管 (HTVP) を準用) ・プロパン・消火・排水 ポリエチレン被覆鋼管 ・水道用ポリエチレン管 <p>ホ. 特記仕様書等にて、ねじ込み及びMD ジョイント等、複数の施工方法が併記された場合は、口径毎に安価な単価を用いる。</p> <p>ヘ. 外壁から第一桝までの排水管は屋内扱いとし、上流部の施工場所により「屋内一般配管」又は「機械室・便所配管」として扱う。</p> <p>(2) 配管附属品</p> <p>イ. 耐火二層管において、特記により伸縮管継手を設置する場合はその伸縮管継手 (材工共) を別途計上する。また、必要に応じ、配管固定金物を別途計上する。</p> <p>なお、伸縮管継手の歩掛りは同一呼び径のバタフライ弁に準ずる。</p>	<p>第4章 機械設備工事</p> <p>第1節 新営工事</p> <p>第1項 共通工事</p> <p>1 一般事項</p> <p>補正市場単価は、第4編第1章5市場単価の補正により算出し、その算定式は附表M2～附表M9による。</p> <p>2 単価、価格等</p> <p>(1) 配管工事</p> <p>イ. 外壁や屋上の配管は、「屋内一般配管」として扱い、配管支持架台は別途計上する。</p> <p>ロ. 屋内の地中埋設配管は、施工場所により「屋内一般配管」又は「機械室・便所配管」として扱う。</p> <p>ハ. 配管の基準単価は、定尺の管単価を定尺長さで除したものとする。</p> <p>ニ. 次の配管の歩掛りは、協議会歩掛りによる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給水 塩ビライニング鋼管 (SGP-VD) (単価基準 表M1-1-9以外の施工箇所) ・給水 ポリ粉体ライニング鋼管 (SGP-PD) (単価基準 表M1-1-3以外の施工箇所) ・給湯 耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管 (HTVP) (給水 耐熱性硬質塩化ビニル管 (HTVP) を準用) ・プロパン・消火・排水 ポリエチレン被覆鋼管 ・水道用ポリエチレン管 <p>ホ. 特記仕様書等にて、ねじ込み及びMD ジョイント等、複数の施工方法が併記された場合は、口径毎に安価な単価を用いる。</p> <p>ヘ. 外壁から第一桝までの排水管は屋内扱いとし、上流部の施工場所により「屋内一般配管」又は「機械室・便所配管」として扱う。</p> <p>(2) 配管附属品</p> <p>イ. 耐火二層管において、特記により伸縮管継手を設置する場合はその伸縮管継手 (材工共) を別途計上する。また、必要に応じ、配管固定金物を別途計上する。</p> <p>なお、伸縮管継手の歩掛りは同一呼び径のバタフライ弁に準ずる。</p>

改 定 後	改 定 前																																																																																	
<p>ロ. メカニカル形ステンレス鋼弁の歩掛りは、仕切弁の歩掛りの配管工の所要数を 80%として準用する。</p> <p>(3) 保温工事</p> <p>イ. 保温工事の細目工種は、参考歩掛り及び表M1-1～表M1-3による。</p> <p>ロ. 冷媒用断熱材被覆銅管用保温外装は、協議会歩掛りによる。</p> <p>ハ. 弁類保温 (<u>単価基準 表M1-1-58</u>) に用いる材料のグラスウール保温帯は、アルミガラスクロス化粧付きグラスウール保温帯を代用することができる。</p> <p>ニ. 弁類保温に用いる材料のステンレス鋼板の板厚は、0.3mm を代用することができる。</p> <p>(4) 塗装・防錆工事 <u>及び防食措置</u></p> <p>単価基準の「文字標識等」において「建物延べ面積」は、事務庁舎に対する数値であり、研究所等のように空調及び衛生等の機器が事務庁舎に比較して多いときは、割増しを考慮する。</p> <p>(5) 機器搬入</p> <p>イ. 分割して搬入する機器は、分割時の各部材を 1 個の機器として扱い、質量及び容積の算定を行う。</p> <p>ロ. 機器の質量及び容積は、価格算定時に参考とした製造業者の値とする。</p> <p>ハ. 契約図書で単価基準 <u>表M1-1-67</u> に設定される揚重機 16t では不足する条件が明示される場合、搬入単価から揚重機分を差引き、適切な揚重機の所要量を別途に計上する。</p> <p>(6)～(9) (略)</p> <p>表 M1 - 1 補正市場単価 保温工事 (配管) 【グラスウール】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>施 工 箇 所</th> <th>仕 様</th> <th>単 位</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">給水管、排水管、 給湯管及び温水管 (膨張管を含む。)</td> <td>機械室、書庫、倉庫</td> <td>アルミガラス化粧原紙</td> <td>m</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">天井内、パイプシャフト内及び 空隙壁中</td> <td>アルミガラスクロス</td> <td>m</td> <td></td> </tr> <tr> <td><u>多湿箇所、屋外露出</u></td> <td>カラー亜鉛鉄板</td> <td>m</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">冷水・冷温水管 (膨張管を含む。)</td> <td rowspan="2">機械室、書庫、倉庫</td> <td>アルミガラス化粧原紙</td> <td>m</td> <td></td> </tr> <tr> <td><u>多湿箇所、屋外露出</u></td> <td>カラー亜鉛鉄板</td> <td>m</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">蒸気管 (低圧(0.1Mpa未満) の蒸気)</td> <td>機械室、書庫、倉庫</td> <td>アルミガラス化粧原紙</td> <td>m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>天井内、パイプシャフト内及び 空隙壁中</td> <td>アルミガラスクロス</td> <td>m</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項 目	施 工 箇 所	仕 様	単 位	備 考	給水管、排水管、 給湯管及び温水管 (膨張管を含む。)	機械室、書庫、倉庫	アルミガラス化粧原紙	m		天井内、パイプシャフト内及び 空隙壁中	アルミガラスクロス	m		<u>多湿箇所、屋外露出</u>	カラー亜鉛鉄板	m		冷水・冷温水管 (膨張管を含む。)	機械室、書庫、倉庫	アルミガラス化粧原紙	m		<u>多湿箇所、屋外露出</u>	カラー亜鉛鉄板	m		蒸気管 (低圧(0.1Mpa未満) の蒸気)	機械室、書庫、倉庫	アルミガラス化粧原紙	m		天井内、パイプシャフト内及び 空隙壁中	アルミガラスクロス	m		<p>ロ. メカニカル形ステンレス鋼弁の歩掛りは、仕切弁の歩掛りの配管工の所要数を 80%として準用する。</p> <p>(3) 保温工事</p> <p>イ. 保温工事の細目工種は、参考歩掛り及び表M1-1～表M1-3による。</p> <p>ロ. 冷媒用断熱材被覆銅管用保温外装は、協議会歩掛りによる。</p> <p>ハ. 弁類保温 (表M1-1-59) に用いる材料のグラスウール保温帯は、アルミガラスクロス化粧付きグラスウール保温帯を代用することができる。</p> <p>ニ. 弁類保温に用いる材料のステンレス鋼板の板厚は、0.3mm を代用することができる。</p> <p>(4) 塗装・防錆工事</p> <p>単価基準の「文字標識等」において「建物延べ面積」は、事務庁舎に対する数値であり、研究所等のように空調及び衛生等の機器が事務庁舎に比較して多いときは、割増しを考慮する。</p> <p>(5) 機器搬入</p> <p>イ. 分割して搬入する機器は、分割時の各部材を 1 個の機器として扱い、質量及び容積の算定を行う。</p> <p>ロ. 機器の質量及び容積は、価格算定時に参考とした製造業者の値とする。</p> <p>ハ. 契約図書で単価基準 <u>表M1-1-68</u> に設定される揚重機 16t では不足する条件が明示される場合、搬入 <u>基準</u> 単価から揚重機分を差引き、適切な揚重機の所要量を別途に計上する。</p> <p>(6)～(9) (略)</p> <p>表 M1 - 1 補正市場単価 保温工事 (配管) 【グラスウール】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>施 工 箇 所</th> <th>仕 様</th> <th>単 位</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">給水管、排水管、 給湯管及び温水管 (膨張管を含む。)</td> <td>機械室、書庫、倉庫</td> <td>アルミガラス化粧原紙</td> <td>m</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">天井内、パイプシャフト内及び 空隙壁中</td> <td>アルミガラスクロス</td> <td>m</td> <td></td> </tr> <tr> <td><u>屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)、浴室及び厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)</u></td> <td>カラー亜鉛鉄板</td> <td>m</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">冷水・冷温水管 (膨張管を含む。)</td> <td rowspan="2">機械室、書庫、倉庫</td> <td>アルミガラス化粧原紙</td> <td>m</td> <td></td> </tr> <tr> <td><u>屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)、浴室及び厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)</u></td> <td>カラー亜鉛鉄板</td> <td>m</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">冷水・冷温水管 (膨張管を含む。)</td> <td rowspan="2">機械室、書庫、倉庫</td> <td>アルミガラス化粧原紙</td> <td>m</td> <td></td> </tr> <tr> <td><u>屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)、浴室及び厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)</u></td> <td>カラー亜鉛鉄板</td> <td>m</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">冷水・冷温水管 (膨張管を含む。)</td> <td rowspan="2">機械室、書庫、倉庫</td> <td>アルミガラス化粧原紙</td> <td>m</td> <td></td> </tr> <tr> <td><u>屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)、浴室及び厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)</u></td> <td>カラー亜鉛鉄板</td> <td>m</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	項 目	施 工 箇 所	仕 様	単 位	備 考	給水管、排水管、 給湯管及び温水管 (膨張管を含む。)	機械室、書庫、倉庫	アルミガラス化粧原紙	m		天井内、パイプシャフト内及び 空隙壁中	アルミガラスクロス	m		<u>屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)、浴室及び厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)</u>	カラー亜鉛鉄板	m		冷水・冷温水管 (膨張管を含む。)	機械室、書庫、倉庫	アルミガラス化粧原紙	m		<u>屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)、浴室及び厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)</u>	カラー亜鉛鉄板	m		冷水・冷温水管 (膨張管を含む。)	機械室、書庫、倉庫	アルミガラス化粧原紙	m		<u>屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)、浴室及び厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)</u>	カラー亜鉛鉄板	m		冷水・冷温水管 (膨張管を含む。)	機械室、書庫、倉庫	アルミガラス化粧原紙	m		<u>屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)、浴室及び厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)</u>	カラー亜鉛鉄板	m	
項 目	施 工 箇 所	仕 様	単 位	備 考																																																																														
給水管、排水管、 給湯管及び温水管 (膨張管を含む。)	機械室、書庫、倉庫	アルミガラス化粧原紙	m																																																																															
	天井内、パイプシャフト内及び 空隙壁中	アルミガラスクロス	m																																																																															
		<u>多湿箇所、屋外露出</u>	カラー亜鉛鉄板	m																																																																														
冷水・冷温水管 (膨張管を含む。)	機械室、書庫、倉庫	アルミガラス化粧原紙	m																																																																															
		<u>多湿箇所、屋外露出</u>	カラー亜鉛鉄板	m																																																																														
蒸気管 (低圧(0.1Mpa未満) の蒸気)	機械室、書庫、倉庫	アルミガラス化粧原紙	m																																																																															
	天井内、パイプシャフト内及び 空隙壁中	アルミガラスクロス	m																																																																															
項 目	施 工 箇 所	仕 様	単 位	備 考																																																																														
給水管、排水管、 給湯管及び温水管 (膨張管を含む。)	機械室、書庫、倉庫	アルミガラス化粧原紙	m																																																																															
	天井内、パイプシャフト内及び 空隙壁中	アルミガラスクロス	m																																																																															
		<u>屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)、浴室及び厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)</u>	カラー亜鉛鉄板	m																																																																														
冷水・冷温水管 (膨張管を含む。)	機械室、書庫、倉庫	アルミガラス化粧原紙	m																																																																															
		<u>屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)、浴室及び厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)</u>	カラー亜鉛鉄板	m																																																																														
冷水・冷温水管 (膨張管を含む。)	機械室、書庫、倉庫	アルミガラス化粧原紙	m																																																																															
		<u>屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)、浴室及び厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)</u>	カラー亜鉛鉄板	m																																																																														
冷水・冷温水管 (膨張管を含む。)	機械室、書庫、倉庫	アルミガラス化粧原紙	m																																																																															
		<u>屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)、浴室及び厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)</u>	カラー亜鉛鉄板	m																																																																														

改定後					改定前					
冷媒管	<u>多湿箇所、屋外露出</u>	カラー亜鉛鉄板	m		蒸気管 (低圧(0.1Mpa未満) の蒸気)	<u>は含まない。)</u>				
		溶融アルミニウム-亜鉛鉄板	m			機械室、書庫、倉庫	アルミガラス化粧原紙	m		
	屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1	m			天井内、パイプシャフト内及び 空隙壁中	アルミガラスクロス	m		
		合成樹脂製カバー2	m				<u>屋外露出(バルコニー、開放 廊下を含む。)、浴室及び厨房 等の多湿箇所(厨房の天井内 は含まない。)</u>	カラー亜鉛鉄板	m	
	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m			溶融アルミニウム-亜鉛鉄板	アルミガラス化粧原紙	m		
		アルミガラス化粧原紙	m				屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1	m	
	天井内、パイプシャフト内及び 空隙壁中	アルミガラスクロス	m			合成樹脂製カバー2	合成樹脂製カバー2	m		
		着色アルミガラスクロス	m				機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	
	暗渠内(ピット内を含む。)	カラー亜鉛鉄板	m			アルミガラス化粧原紙	アルミガラス化粧原紙	m		
		溶融アルミニウム-亜鉛鉄板	m				天井内、パイプシャフト内及び 空隙壁中	アルミガラスクロス	m	
<u>多湿箇所、屋外露出</u>	カラー亜鉛鉄板	m		ステンレス鋼板	着色アルミガラスクロス	m				
	溶融アルミニウム-亜鉛鉄板	m			暗渠内(ピット内を含む。)	着色アルミガラスクロス	m			
ステンレス鋼板	m		屋外露出(バルコニー、開放 廊下を含む。)、浴室及び厨房 等の多湿箇所(厨房の天井内 は含まない。)	カラー亜鉛鉄板	m					
				溶融アルミニウム-亜鉛鉄板	m					
				ステンレス鋼板	m					

(注) 1. 保温の施工箇所の多湿箇所は、浴室、厨房等を含む。なお、厨房の天井内は含まない。
2. 保温の施工箇所の屋外露出は、バルコニー及び開放廊下を含む。

表 M1 - 2 補正市場単価 保温工事(配管)【ロックウール】

項目	施工箇所	仕様	単位	備考
給水管、排水管、 給湯管及び温水管 (膨張管を含む。)	屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1	m	
		合成樹脂製カバー2	m	
	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	
		アルミガラス化粧原紙	m	
	天井内、パイプシャフト内及び 空隙壁中	アルミガラスクロス	m	
		アルミガラスクロス化粧保温筒	m	
	暗渠内(ピット内を含む。)	着色アルミガラスクロス	m	
	<u>多湿箇所、屋外露出</u>	カラー亜鉛鉄板	m	
		溶融アルミニウム-亜鉛鉄板	m	
		ステンレス鋼板	m	
冷水・冷温水管 (膨張管を含む。)	屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1	m	
		合成樹脂製カバー2	m	
	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	

表 M1 - 2 補正市場単価 保温工事(配管)【ロックウール】

項目	施工箇所	仕様	単位	備考
給水管、排水管、 給湯管及び温水管 (膨張管を含む。)	屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1	m	
		合成樹脂製カバー2	m	
	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	
		アルミガラス化粧原紙	m	
	天井内、パイプシャフト内及び 空隙壁中	アルミガラスクロス	m	
		アルミガラスクロス化粧保温筒	m	
	暗渠内(ピット内を含む。)	着色アルミガラスクロス	m	
	<u>屋外露出(バルコニー、開放 廊下を含む。)、浴室及び厨房 等の多湿箇所(厨房の天井内 は含まない。)</u>	カラー亜鉛鉄板	m	
		溶融アルミニウム-亜鉛鉄板	m	
		ステンレス鋼板	m	
冷水・冷温水管 (膨張管を含む。)	屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1	m	
		合成樹脂製カバー2	m	

改定後					改定前					
蒸気管 (低圧(0.1Mpa未満) の蒸気)	天井内、パイプシャフト内及び 空隙壁中	アルミガラス化粧原紙	m		蒸気管 (低圧(0.1Mpa未満) の蒸気)	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m		
		アルミガラスクロス	m				天井内、パイプシャフト内及び 空隙壁中	アルミガラス化粧原紙	m	
		着色アルミガラスクロス	m					アルミガラスクロス	m	
	<u>多湿箇所、屋外露出</u>	カラー亜鉛鉄板	m			暗渠内(ピット内を含む。)		着色アルミガラスクロス	m	
		熔融アルミニウム-亜鉛鉄板	m				<u>屋外露出(バルコニー、開放 廊下を含む。)、浴室及び厨房 等の多湿箇所(厨房の天井内 は含まない。)</u>	カラー亜鉛鉄板	m	
		ステンレス鋼板	m					熔融アルミニウム-亜鉛鉄板	m	
	屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1	m			ステンレス鋼板		m		
		合成樹脂製カバー2	m				機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	
		アルミガラスクロス	m					アルミガラス化粧原紙	m	
	天井内、パイプシャフト内及び 空隙壁中	アルミガラスクロス	m			天井内、パイプシャフト内及び 空隙壁中		アルミガラスクロス	m	
アルミガラスクロス化粧保温筒		m		アルミガラスクロス化粧保温筒	m					
着色アルミガラスクロス		m		暗渠内(ピット内を含む。)	着色アルミガラスクロス		m			
<u>多湿箇所、屋外露出</u>	カラー亜鉛鉄板	m			<u>屋外露出(バルコニー、開放 廊下を含む。)、浴室及び厨房 等の多湿箇所(厨房の天井内 は含まない。)</u>	カラー亜鉛鉄板	m			
	熔融アルミニウム-亜鉛鉄板	m				熔融アルミニウム-亜鉛鉄板	m			
	ステンレス鋼板	m		ステンレス鋼板		m				
冷媒管	屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1	m		冷媒管	屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1	m		
		合成樹脂製カバー2	m				機械室、書庫、倉庫	合成樹脂製カバー2	m	
		アルミガラスクロス	m					アルミガラスクロス	m	
	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m			天井内、パイプシャフト内及び 空隙壁中		アルミガラス化粧原紙	m	
		アルミガラス化粧原紙	m				アルミガラスクロス	m		
		アルミガラスクロス	m				アルミガラスクロス	m		
	天井内、パイプシャフト内及び 空隙壁中	アルミガラスクロス	m			暗渠内(ピット内を含む。)	着色アルミガラスクロス	m		
		着色アルミガラスクロス	m				<u>屋外露出(バルコニー、開放 廊下を含む。)、浴室及び厨房 等の多湿箇所(厨房の天井内 は含まない。)</u>	カラー亜鉛鉄板	m	
		<u>多湿箇所、屋外露出</u>	カラー亜鉛鉄板	m					熔融アルミニウム-亜鉛鉄板	m
	熔融アルミニウム-亜鉛鉄板		m			ステンレス鋼板		m		
ステンレス鋼板	m									

(注) 1. 保温の施工箇所の多湿箇所は、浴室、厨房等を含む。なお、厨房の天井内は含まない。
2. 保温の施工箇所の屋外露出は、バルコニー及び開放廊下を含む。

表 M1 - 3 補正市場単価 保温工事 (配管) 【ポリスチレンフォーム】

項目	施工箇所	仕様	単位	備考
給水管、排水管	屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1	m	
		合成樹脂製カバー2	m	

表 M1 - 3 補正市場単価 保温工事 (配管) 【ポリスチレンフォーム】

項目	施工箇所	仕様	単位	備考
給水管、排水管	屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1	m	
		合成樹脂製カバー2	m	

改定後					改定前				
冷水・冷温水管 (膨張管を含む。)	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m		冷水・冷温水管 (膨張管を含む。)	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	
	天井内、パイプシャフト内及び 空隙壁中	アルミガラスクロス	m			天井内、パイプシャフト内及び 空隙壁中	アルミガラスクロス	m	
	暗渠内(ピット内を含む。)	アルミガラスクロス化粧保温筒	m			暗渠内(ピット内を含む。)	アルミガラスクロス化粧保温筒	m	
	<u>多湿箇所、屋外露出</u>	着色アルミガラスクロス	m			<u>屋外露出(バルコニー、開放 廊下を含む。)、浴室及び厨房 等の多湿箇所(厨房の天井内 は含まない。)</u>	着色アルミガラスクロス	m	
		カラー亜鉛鉄板	m				カラー亜鉛鉄板	m	
		溶融アルミニウム-亜鉛鉄板	m				溶融アルミニウム-亜鉛鉄板	m	
	屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1	m			屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1	m	
		合成樹脂製カバー2	m				合成樹脂製カバー2	m	
	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m			機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	
	天井内、パイプシャフト内及び 空隙壁中	アルミガラスクロス	m			天井内、パイプシャフト内及び 空隙壁中	アルミガラスクロス	m	
暗渠内(ピット内を含む。)	着色アルミガラスクロス	m		暗渠内(ピット内を含む。)	着色アルミガラスクロス	m			
<u>多湿箇所、屋外露出</u>	カラー亜鉛鉄板	m		<u>屋外露出(バルコニー、開放 廊下を含む。)、浴室及び厨房 等の多湿箇所(厨房の天井内 は含まない。)</u>	カラー亜鉛鉄板	m			
	溶融アルミニウム-亜鉛鉄板	m			溶融アルミニウム-亜鉛鉄板	m			
	ステンレス鋼板	m			ステンレス鋼板	m			
冷水管 (冷水温度2~4℃)	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m		冷水管 (冷水温度2~4℃)	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	
ブライン管	屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1	m		ブライン管	屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1	m	
		合成樹脂製カバー2	m				合成樹脂製カバー2	m	
	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m			機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	
	天井内、パイプシャフト内及び 空隙壁中	アルミガラスクロス	m			天井内、パイプシャフト内及び 空隙壁中	アルミガラスクロス	m	
	暗渠内(ピット内を含む。)	着色アルミガラスクロス	m			暗渠内(ピット内を含む。)	着色アルミガラスクロス	m	
	<u>多湿箇所、屋外露出</u>	カラー亜鉛鉄板	m			<u>屋外露出(バルコニー、開放 廊下を含む。)、浴室及び厨房 等の多湿箇所(厨房の天井内 は含まない。)</u>	カラー亜鉛鉄板	m	
		溶融アルミニウム-亜鉛鉄板	m				溶融アルミニウム-亜鉛鉄板	m	
ステンレス鋼板		m		ステンレス鋼板	m				

(注) 1. 保温の施工箇所の多湿箇所は、浴室、厨房等を含む。なお、厨房の天井内は含まない。
2. 保温の施工箇所の屋外露出は、バルコニー及び開放廊下を含む。

第2項 空気調和設備工事

1 単価、価格等

(1) (略)

改定後	改定前
<p>(2) ダクト設備</p> <p>イ. ダクト設備の細目工種は、単価基準及び表M1-4による。</p> <p>ロ. ステンレス製ダクト及び硬質塩化ビニル製ダクトは、協議会歩掛りによる。</p> <p>ハ. ウェザーカバーは、協議会歩掛りによる。</p> <p>ニ. チャンバー等の吊り用インサート取付費は、必要箇所数を別途計上する。 なお、シーリングディフューザー用既製品ボックスのインサートの必要箇所数は、1箇所とする。</p> <p>ホ. 400φ以上のスパイラルダクトは、参考歩掛り 表RM-2-6による。</p> <p>ヘ. スライドオンフランジ工法に用いる材料のコーナー金具の板厚は、2.3mmを代用することができる。</p> <p>ト. 鋼板製ダクト(1.6mm)は、参考歩掛り 表RM-2-4による。</p> <p>チ. ダクトに用いるフランジ用ガスケットの厚みは、3mmのものは4mmを、5mmのものは6mmをそれぞれ代用することができる。</p> <p>(3) (略)</p> <p>表 M1 - 4 (略)</p> <p>第 3 項 (略)</p> <p>第 4 項 給排水衛生設備工事</p> <p>1 単価、価格等</p> <p>(1) 衛生器具設備</p> <p>イ. 衛生器具設備の細目工種は、単価基準及び表M1-5による。 <u>ただし、これによりがたい場合は、参考歩掛り又はその組み合わせによる。</u></p> <p>ロ. 大便器・小便器ユニット等は、ユニットの構成、配管の種類、ケーシングの寸法等を考慮のうえ、製造業者からの材料費及び労務費等の見積価格等を参考にする。</p> <p>(2) 排水設備</p> <p>ディスポーザーの歩掛りは、ドラムトラップ(鋳鉄製)80Aに準ずる。</p> <p>(3) 給湯設備</p> <p>イ. ヒートポンプ式給湯器の据付は、原則として製造業者の見積価格等を参考にする。見積によれない場合は、単価基準 表M1-2-11パッケージ形空調機(圧縮機屋外形)の屋外機に、単価基準 表M1-2-4タンク類の密閉形隔膜式膨張タンクの歩掛りを加算し</p>	<p>(2) ダクト設備</p> <p>イ. ダクト設備の細目工種は、単価基準及び表M1-4による。</p> <p>ロ. ステンレス製ダクト及び硬質塩化ビニル製ダクトは、協議会歩掛りによる。</p> <p>ハ. ウェザーカバーは、協議会歩掛りによる。</p> <p>ニ. チャンバー等の吊り用インサート取付費は、必要箇所数を別途計上する。 なお、シーリングディフューザー用既製品ボックスのインサートの必要箇所数は、1箇所とする。</p> <p>ホ. 400φ以上のスパイラルダクトは、参考歩掛り 表RM-2-4による。</p> <p>ヘ. スライドオンフランジ工法に用いる材料のコーナー金具の板厚は、2.3mmを代用することができる。</p> <p>ト. 鋼板製ダクト(1.6mm)は、参考歩掛り 表RM-2-2による。</p> <p>チ. ダクトに用いるフランジ用ガスケットの厚みは、3mmのものは4mmを、5mmのものは6mmをそれぞれ代用することができる。</p> <p>(3) (略)</p> <p>表 M1 - 4 (略)</p> <p>第 3 項 (略)</p> <p>第 4 項 給排水衛生設備工事</p> <p>1 単価、価格等</p> <p>(1) 衛生器具設備</p> <p>イ. 衛生器具設備の細目工種は、単価基準及び表M1-5による。 <u>また、壁掛形汚物流しユニットの取付は、協議会歩掛りによる。</u> <u>なお、左記によれない場合は、参考歩掛り又はその組み合わせによる。</u></p> <p>ロ. 大便器・小便器ユニット等は、ユニットの構成、配管の種類、ケーシングの寸法等を考慮のうえ、製造業者からの材料費及び労務費等の見積価格等を参考にする。</p> <p>(2) 排水設備</p> <p>ディスポーザーの歩掛りは、ドラムトラップ(鋳鉄製)80Aに準ずる。</p> <p>(3) 給湯設備</p> <p>イ. ヒートポンプ式給湯器の据付は、原則として製造業者の見積価格等を参考にする。見積によれない場合は、単価基準 表M1-2-12パッケージ形空調機(圧縮機屋外形)の屋外機に、単価基準 表M1-2-5タンク類の密閉形隔膜式膨張タンクの歩掛りを加算し</p>

改 定 後	改 定 前
<p>た歩掛りで代用する。 ロ. 電気温水器の据付は、協議会歩掛りによる。</p> <p>(4)～(5) (略) 表 M1 - 5 (略)</p> <p>第 2 節 改 修 工 事</p> <p>第 1 項 (略)</p> <p>第 2 項 空気調和設備工事 (改修)</p> <p>1 単価、価格等</p> <p>(1) ダクト工事 イ. 保温を行うダクト端部閉塞は、保温を別途計上する。 ロ. 長方形ダクトの歩掛り表中の鋼材防錆塗装は工場塗りとしているため、執務並行改修工事であっても、塗装工所要量は<u>割増し</u>の対象としない。</p> <p>第 3 項 (略)</p> <p>第 4 項 撤去工事</p> <p>1 単価、価格等</p> <p>(1) 機器撤去 イ. 冷凍機、パッケージ形空調機等の冷媒、オイル等の抜き取り費・処分費（フロン破壊処理を含む）は、専門工事業者の見積価格等を参考にする。 ロ. 大型機器の撤去費は、製造業者、専門工事業者等からの見積価格等を参考にする。 ハ. 標準歩掛りを用いて撤去する機器の搬出費を算出する場合は、機器搬入費の 90%を機器搬出費相当とする。なお、再使用するための取外しにおいては、機器搬入費の 100%を機器搬出費相当とする。 ニ. 冷凍機等の機器の撤去において、一体での搬出ができない場合は、分割するための費用を別途考慮する。 ホ. 分割して搬出する機器は、分割時の各部材を 1 個の機器として扱い、質量及び容積の算定を行う。</p>	<p>た歩掛りで代用する。 ロ. 電気温水器の据付は、協議会歩掛りによる。</p> <p>(4)～(5) (略) 表 M1 - 5 (略)</p> <p>第 2 節 改 修 工 事</p> <p>第 1 項 (略)</p> <p>第 2 項 空気調和設備工事 (改修)</p> <p>1 単価、価格等</p> <p>(1) ダクト工事 イ. 保温を行うダクト端部閉塞は、保温を別途計上する。 ロ. 長方形ダクトの歩掛り表中の鋼材防錆塗装は工場塗りとしているため、執務並行改修工事であっても、塗装工所要量は<u>基準補正単価</u>の対象としない。</p> <p>第 3 項 (略)</p> <p>第 4 項 撤去工事</p> <p>1 単価、価格等</p> <p>(1) 機器撤去 イ. 冷凍機、パッケージ形空調機等の冷媒、オイル等の抜き取り費・処分費（フロン破壊処理を含む）は、専門工事業者の見積価格等を参考にする。 ロ. 大型機器の撤去費は、製造業者、専門工事業者等からの見積価格等を参考にする。 ハ. 標準歩掛りを用いて撤去する機器の搬出費を算出する場合は、機器搬入費の 90%を機器搬出費相当とする。なお、再使用するための取外しにおいては、機器搬入費の 100%を機器搬出費相当とする。 ニ. 冷凍機等の機器の撤去において、一体での搬出ができない場合は、分割するための費用を別途考慮する。 ホ. 分割して搬出する機器は、分割時の各部材を 1 個の機器として扱い、質量及び容積の算定を行う。</p>

改定後	改定前
<p>(2) 配管・ダクト類</p> <p>イ. 保温の施された配管、ダクト等を撤去する場合は、保温の撤去費用を別途計上する。</p> <p>ロ. 弁・継手類の撤去労務費は、65A 以上を対象に計上する。 なお、50A 以下は、配管と同時に撤去されるものとし計上しない。</p> <p>ハ. 計器類（温度計、圧力計、風量測定口等）の撤去労務費は、配管やダクトと同時に撤去されるものとし計上しない。</p> <p>ニ. ダクト附属品（吹出口、吸込口、ダンパー、たわみ継手等）の撤去は、撤去費用を計上する。 ただし、点検口（ダクト用）はチャンバー等と同時に撤去されるものとし計上しない。</p> <p>(3) 柵類</p> <p>柵を撤去する場合は、土工事を別途計上する。ただし、300×300 以下の柵の土工事は、接続する配管の延長とし、配管の土工事に含まれるものとみなす。</p>	<p>(2) 配管・ダクト類</p> <p>イ. 保温の施された配管、ダクト等の撤去は、保温の撤去費用を計上する。</p> <p>ロ. 弁・継手類の撤去労務費は、65A 以上を対象に計上する。 なお、50A 以下は、配管と同時に撤去されるものとし計上しない。</p> <p>ハ. 計器類（温度計、圧力計、風量測定口等）の撤去労務費は、配管やダクトと同時に撤去されるものとし計上しない。</p> <p>ニ. ダクト附属品（吹出口、吸込口、ダンパー、たわみ継手等）の撤去は、撤去費用を計上する。 ただし、点検口（ダクト用）はチャンバー等と同時に撤去されるものとし計上しない。</p> <p>(3) 柵類</p> <p>柵を撤去する場合は、土工事を別途計上する。ただし、300×300 以下の柵の土工事は、接続する配管の延長とし、配管の土工事に含まれるものとみなす。</p>
<p>第 5 章 昇降機設備工事</p>	<p>第 5 章 昇降機設備工事</p>
<p>第 1 節 (略)</p>	<p>第 1 節 (略)</p>
<p>第 2 節 改修工事</p>	<p>第 2 節 改修工事</p>
<p>第 1 項 共通工事</p>	<p>第 1 項 共通工事</p>
<p>1 一般事項</p> <p>昇降機設備工事の改修工事は、専門工事業者が施工業者となることから、専門工事業者からの見積価格等を参考にする。</p>	<p>1 一般事項</p> <p>昇降機設備工事の改修工事は、専門工事業者が施工業者となることから、専門工事業者からの見積価格等を参考にする。</p>
<p>2 単価、価格等</p>	<p>2 単価、価格等</p>
<p>(1) 昇降機設備工事の改修工事は、専門工事業者の見積価格等を参考に価格決定するが、改修内容によっては他工事、刊行物の単価・価格及び改修内容に対応する専門工事業者の見積価格等を参考にする。</p> <p>(2) エレベーター設備、小荷物専用昇降機設備及びエスカレーター設備の改修工事を同一の工事にて発注する場合は、見積価格等による各設備の直接工事費の合計金額を基に、決定する。</p>	<p>(1) 昇降機設備工事の改修工事は、専門工事業者の見積価格等を参考に価格決定するが、改修内容によっては他工事、刊行物の単価・価格及び改修内容に対応する専門工事業者の見積価格等を参考にする。</p> <p>(2) エレベーター設備、小荷物専用昇降機設備、エスカレーター設備の改修工事を同一の工事にて発注する場合は、見積価格等による各設備の直接工事費の合計金額を基に、決定する。</p>
<p>第 2 項 (略)</p>	<p>第 2 項 (略)</p>

改定後

附表1 補正市場単価算出方法
【土工】～【配線工事4】 (略)
(削除)

改定前

附表1 補正市場単価算出方法
【土工】～【配線工事4】 (略)

【配線工事5】600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF)

補正市場単価

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) ころがし配線 2.6mm-2C	m	B	c ÷ b
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) ころがし配線 2.6mm-3C	m	D	f ÷ e
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) 木造部分にサド止め又はステー止め 1.6mm-2C	m	A	g ÷ a
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) 木造部分にサド止め又はステー止め 2.0mm-2C	m	B	h ÷ b
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) 木造部分にサド止め又はステー止め 2.6mm-2C	m	B	i ÷ b
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) 木造部分にサド止め又はステー止め 1.6mm-3C	m	C	j ÷ d
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) 木造部分にサド止め又はステー止め 2.0mm-3C	m	D	k ÷ e
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) 木造部分にサド止め又はステー止め 2.6mm-3C	m	D	l ÷ e
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) コンクリート部分にサド止め(カ-ルプ)ラゲ含む 1.6mm-2C	m	A	m ÷ a
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) コンクリート部分にサド止め(カ-ルプ)ラゲ含む 2.0mm-2C	m	B	n ÷ b
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) コンクリート部分にサド止め(カ-ルプ)ラゲ含む 2.6mm-2C	m	B	o ÷ b
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) コンクリート部分にサド止め(カ-ルプ)ラゲ含む 1.6mm-3C	m	C	p ÷ d
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) コンクリート部分にサド止め(カ-ルプ)ラゲ含む 2.0mm-3C	m	D	q ÷ e
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) コンクリート部分にサド止め(カ-ルプ)ラゲ含む 2.6mm-3C	m	D	r ÷ e
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) ケーブルラック内配線 1.6mm-2C	m	A	s ÷ a
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) ケーブルラック内配線 2.0mm-2C	m	B	t ÷ b
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) ケーブルラック内配線 2.6mm-2C	m	B	u ÷ b
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) ケーブルラック内配線 1.6mm-3C	m	C	v ÷ d
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) ケーブルラック内配線 2.0mm-3C	m	D	w ÷ e
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) ケーブルラック内配線 2.6mm-3C	m	D	x ÷ e
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) 管内配線 1.6mm-2C	m	A	y ÷ a
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) 管内配線 2.0mm-2C	m	B	z ÷ b
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) 管内配線 2.6mm-2C	m	B	α ÷ b
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) 管内配線 1.6mm-3C	m	C	β ÷ d
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) 管内配線 2.0mm-3C	m	D	γ ÷ e
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) 管内配線 2.6mm-3C	m	D	δ ÷ e
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) PF及びCD管内配線 1.6mm-2C	m	A	ε ÷ a
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) PF及びCD管内配線 2.0mm-2C	m	B	ζ ÷ b
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) PF及びCD管内配線 2.6mm-2C	m	B	η ÷ b
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) PF及びCD管内配線 1.6mm-3C	m	C	θ ÷ d
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) PF及びCD管内配線 2.0mm-3C	m	D	ι ÷ e

改定後

(削除)

改定前

** 補正市場単価 **

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
600V絶縁ケーブル	600V* リエレン絶縁耐燃性* リエレンスケープ* (EM-EEF) PF及びCD管内配線 2.6mm-3C	m	D	$\kappa \div e$

** 市場単価 **

細目	摘要	単位	単価記号
600V絶縁ケーブル	600V* リエレン絶縁耐燃性* リエレンスケープ* (EM-EEF) ころがし配線 1.6mm-2C	m	A
600V絶縁ケーブル	600V* リエレン絶縁耐燃性* リエレンスケープ* (EM-EEF) ころがし配線 2.0mm-2C	m	B
600V絶縁ケーブル	600V* リエレン絶縁耐燃性* リエレンスケープ* (EM-EEF) ころがし配線 1.6mm-3C	m	C
600V絶縁ケーブル	600V* リエレン絶縁耐燃性* リエレンスケープ* (EM-EEF) ころがし配線 2.0mm-3C	m	D

** 参考歩掛り **

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
600V絶縁ケーブル	600V* リエレン絶縁耐燃性* リエレンスケープ* (EM-EEF) ころがし配線 1.6mm-2C	m	a	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600V* リエレン絶縁耐燃性* リエレンスケープ* (EM-EEF) ころがし配線 2.0mm-2C	m	b	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600V* リエレン絶縁耐燃性* リエレンスケープ* (EM-EEF) ころがし配線 2.6mm-2C	m	c	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600V* リエレン絶縁耐燃性* リエレンスケープ* (EM-EEF) ころがし配線 1.6mm-3C	m	d	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600V* リエレン絶縁耐燃性* リエレンスケープ* (EM-EEF) ころがし配線 2.0mm-3C	m	e	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600V* リエレン絶縁耐燃性* リエレンスケープ* (EM-EEF) ころがし配線 2.6mm-3C	m	f	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600V* リエレン絶縁耐燃性* リエレンスケープ* (EM-EEF) 木造部分にサド止め又はステー止め 1.6mm-2C	m	g	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600V* リエレン絶縁耐燃性* リエレンスケープ* (EM-EEF) 木造部分にサド止め又はステー止め 2.0mm-2C	m	h	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600V* リエレン絶縁耐燃性* リエレンスケープ* (EM-EEF) 木造部分にサド止め又はステー止め 2.6mm-2C	m	i	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600V* リエレン絶縁耐燃性* リエレンスケープ* (EM-EEF) 木造部分にサド止め又はステー止め 1.6mm-3C	m	j	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600V* リエレン絶縁耐燃性* リエレンスケープ* (EM-EEF) 木造部分にサド止め又はステー止め 2.0mm-3C	m	k	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600V* リエレン絶縁耐燃性* リエレンスケープ* (EM-EEF) 木造部分にサド止め又はステー止め 2.6mm-3C	m	l	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600V* リエレン絶縁耐燃性* リエレンスケープ* (EM-EEF) コンクリート部分にサド止め (カ-ルブ ラグ 含む) 1.6mm-2C	m	m	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600V* リエレン絶縁耐燃性* リエレンスケープ* (EM-EEF) コンクリート部分にサド止め (カ-ルブ ラグ 含む) 2.0mm-2C	m	n	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600V* リエレン絶縁耐燃性* リエレンスケープ* (EM-EEF) コンクリート部分にサド止め (カ-ルブ ラグ 含む) 2.6mm-2C	m	o	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600V* リエレン絶縁耐燃性* リエレンスケープ* (EM-EEF) コンクリート部分にサド止め (カ-ルブ ラグ 含む) 1.6mm-3C	m	p	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600V* リエレン絶縁耐燃性* リエレンスケープ* (EM-EEF) コンクリート部分にサド止め (カ-ルブ ラグ 含む) 2.0mm-3C	m	q	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600V* リエレン絶縁耐燃性* リエレンスケープ* (EM-EEF) コンクリート部分にサド止め (カ-ルブ ラグ 含む) 2.6mm-3C	m	r	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600V* リエレン絶縁耐燃性* リエレンスケープ* (EM-EEF) ケーブルラック内配線 1.6mm-2C	m	s	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600V* リエレン絶縁耐燃性* リエレンスケープ* (EM-EEF) ケーブルラック内配線 2.0mm-2C	m	t	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600V* リエレン絶縁耐燃性* リエレンスケープ* (EM-EEF) ケーブルラック内配線 2.6mm-2C	m	u	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600V* リエレン絶縁耐燃性* リエレンスケープ* (EM-EEF) ケーブルラック内配線 1.6mm-3C	m	v	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600V* リエレン絶縁耐燃性* リエレンスケープ* (EM-EEF) ケーブルラック内配線 2.0mm-3C	m	w	表RE-1-12

改定後

改定前

(削除)

参考歩掛り

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル (EM-EEF) ケーブルラック内配線 2.6mm-3C	m	x	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル (EM-EEF) 管内配線 1.6mm-2C	m	y	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル (EM-EEF) 管内配線 2.0mm-2C	m	z	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル (EM-EEF) 管内配線 2.6mm-2C	m	α	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル (EM-EEF) 管内配線 1.6mm-3C	m	β	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル (EM-EEF) 管内配線 2.0mm-3C	m	γ	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル (EM-EEF) 管内配線 2.6mm-3C	m	δ	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル (EM-EEF) PF及びCD管内配線 1.6mm-2C	m	ε	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル (EM-EEF) PF及びCD管内配線 2.0mm-2C	m	ζ	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル (EM-EEF) PF及びCD管内配線 2.6mm-2C	m	η	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル (EM-EEF) PF及びCD管内配線 1.6mm-3C	m	θ	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル (EM-EEF) PF及びCD管内配線 2.0mm-3C	m	ι	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル (EM-EEF) PF及びCD管内配線 2.6mm-3C	m	κ	表RE-1-12

改定後

(削除)

改定前

【配線工事 6】 7-ス線付 600Vホ[°]リエレン絶縁耐燃性ホ[°]リエレンシースケープ[°]ル (EM-EEFG)

** 補正市場単価 **

細目	摘要	単位	市場単価	算定式
7-ス線付600V絶縁ケーブル	7-ス線付600Vホ [°] リエレン絶縁耐燃性ホ [°] リエレンシースケープ [°] ル (EM-EEFG) ころがし配線 2.0mm-2C+1.6-1C	m	A	a ÷ m
7-ス線付600V絶縁ケーブル	7-ス線付600Vホ [°] リエレン絶縁耐燃性ホ [°] リエレンシースケープ [°] ル (EM-EEFG) ころがし配線 2.6mm-2C+1.6-1C	m	B	b ÷ n
7-ス線付600V絶縁ケーブル	7-ス線付600Vホ [°] リエレン絶縁耐燃性ホ [°] リエレンシースケープ [°] ル (EM-EEFG) 木造部分にサドル止め又はステー [°] ル止め 2.0mm-2C+1.6-1C	m	A	c ÷ m
7-ス線付600V絶縁ケーブル	7-ス線付600Vホ [°] リエレン絶縁耐燃性ホ [°] リエレンシースケープ [°] ル (EM-EEFG) 木造部分にサドル止め又はステー [°] ル止め 2.6mm-2C+1.6-1C	m	B	d ÷ n
7-ス線付600V絶縁ケーブル	7-ス線付600Vホ [°] リエレン絶縁耐燃性ホ [°] リエレンシースケープ [°] ル (EM-EEFG) コンクリート部分にサドル止め (カルブ [°] ラ [°] 含む) 2.0mm-2C+1.6-1C	m	A	e ÷ m
7-ス線付600V絶縁ケーブル	7-ス線付600Vホ [°] リエレン絶縁耐燃性ホ [°] リエレンシースケープ [°] ル (EM-EEFG) コンクリート部分にサドル止め (カルブ [°] ラ [°] 含む) 2.6mm-2C+1.6-1C	m	B	f ÷ n
7-ス線付600V絶縁ケーブル	7-ス線付600Vホ [°] リエレン絶縁耐燃性ホ [°] リエレンシースケープ [°] ル (EM-EEFG) ケブルラック内配線 2.0mm-2C+1.6-1C	m	A	g ÷ m
7-ス線付600V絶縁ケーブル	7-ス線付600Vホ [°] リエレン絶縁耐燃性ホ [°] リエレンシースケープ [°] ル (EM-EEFG) ケブルラック内配線 2.6mm-2C+1.6-1C	m	B	h ÷ n
7-ス線付600V絶縁ケーブル	7-ス線付600Vホ [°] リエレン絶縁耐燃性ホ [°] リエレンシースケープ [°] ル (EM-EEFG) 管内配線 2.0mm-2C+1.6-1C	m	A	i ÷ m
7-ス線付600V絶縁ケーブル	7-ス線付600Vホ [°] リエレン絶縁耐燃性ホ [°] リエレンシースケープ [°] ル (EM-EEFG) 管内配線 2.6mm-2C+1.6-1C	m	B	j ÷ n
7-ス線付600V絶縁ケーブル	7-ス線付600Vホ [°] リエレン絶縁耐燃性ホ [°] リエレンシースケープ [°] ル (EM-EEFG) PF及びCD管内配線 2.0mm-2C+1.6-1C	m	A	k ÷ m
7-ス線付600V絶縁ケーブル	7-ス線付600Vホ [°] リエレン絶縁耐燃性ホ [°] リエレンシースケープ [°] ル (EM-EEFG) PF及びCD管内配線 2.6mm-2C+1.6-1C	m	B	l ÷ n

** 市場単価及び補正市場単価 **

細目	摘要	単位	単価記号
600V絶縁ケーブル	600Vホ [°] リエレン絶縁耐燃性ホ [°] リエレンシースケープ [°] ル (EM-EEF) ころがし配線 2.0mm-3C	m	A
600V絶縁ケーブル	600Vホ [°] リエレン絶縁耐燃性ホ [°] リエレンシースケープ [°] ル (EM-EEF) ころがし配線 2.6mm-3C	m	B

改定後

改定前

(削除)

参考歩掛り

細目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600V ^ホ リエレン絶縁耐燃性 ^ホ リエレンシースケープ ^ル (EM-EEFG) ころがし配線 2.0mm-2C+1.6-1C	m	a	表RE-1-12 (2.0mm-3C)
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600V ^ホ リエレン絶縁耐燃性 ^ホ リエレンシースケープ ^ル (EM-EEFG) ころがし配線 2.6mm-2C+1.6-1C	m	b	表RE-1-12 (2.6mm-3C)
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600V ^ホ リエレン絶縁耐燃性 ^ホ リエレンシースケープ ^ル (EM-EEFG) 木造部分にサド ^ル 止め又はステー ^ル 止め 2.0mm-2C+1.6-1C	m	c	表RE-1-12 (2.0mm-3C)
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600V ^ホ リエレン絶縁耐燃性 ^ホ リエレンシースケープ ^ル (EM-EEFG) 木造部分にサド ^ル 止め又はステー ^ル 止め 2.6mm-2C+1.6-1C	m	d	表RE-1-12 (2.6mm-3C)
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600V ^ホ リエレン絶縁耐燃性 ^ホ リエレンシースケープ ^ル (EM-EEFG) コンクリート部分にサド ^ル 止め(カ-ル ^ラ ク含む) 2.0mm-2C+1.6-1C	m	e	表RE-1-12 (2.0mm-3C)
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600V ^ホ リエレン絶縁耐燃性 ^ホ リエレンシースケープ ^ル (EM-EEFG) コンクリート部分にサド ^ル 止め(カ-ル ^ラ ク含む) 2.6mm-2C+1.6-1C	m	f	表RE-1-12 (2.6mm-3C)
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600V ^ホ リエレン絶縁耐燃性 ^ホ リエレンシースケープ ^ル (EM-EEFG) ケ-ブルラック内配線 2.0mm-2C+1.6-1C	m	g	表RE-1-12 (2.0mm-3C)
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600V ^ホ リエレン絶縁耐燃性 ^ホ リエレンシースケープ ^ル (EM-EEFG) ケ-ブルラック内配線 2.6mm-2C+1.6-1C	m	h	表RE-1-12 (2.6mm-3C)
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600V ^ホ リエレン絶縁耐燃性 ^ホ リエレンシースケープ ^ル (EM-EEFG) 管内配線 2.0mm-2C+1.6-1C	m	i	表RE-1-12 (2.0mm-3C)
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600V ^ホ リエレン絶縁耐燃性 ^ホ リエレンシースケープ ^ル (EM-EEFG) 管内配線 2.6mm-2C+1.6-1C	m	j	表RE-1-12 (2.6mm-3C)
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600V ^ホ リエレン絶縁耐燃性 ^ホ リエレンシースケープ ^ル (EM-EEFG) PF及びCD管内配線 2.0mm-2C+1.6-1C	m	k	表RE-1-12 (2.0mm-3C)
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600V ^ホ リエレン絶縁耐燃性 ^ホ リエレンシースケープ ^ル (EM-EEFG) PF及びCD管内配線 2.6mm-2C+1.6-1C	m	l	表RE-1-12 (2.6mm-3C)
600V絶縁ケーブル	600V ^ホ リエレン絶縁耐燃性 ^ホ リエレンシースケープ ^ル (EM-EEF) ころがし配線 2.0mm-3C	m	m	表RE-1-12
600V絶縁ケーブル	600V ^ホ リエレン絶縁耐燃性 ^ホ リエレンシースケープ ^ル (EM-EEF) ころがし配線 2.6mm-3C	m	n	表RE-1-12

改定後					改定前				
【保温工事（配管）】					【機械設備工事】				
市場単価（グラスウール）					**市場単価**（グラスウール）				
項目	摘要	単位	単価記号	備考	項目	摘要	単位	単価記号	備考
給水管、排水管、給湯管及び温水管（膨張管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	合成樹脂製カバー1	m	A①	屋内露出（一般居室、廊下）	合成樹脂製カバー1	m	A①	
		合成樹脂製カバー2	m	A②		合成樹脂製カバー2	m	A②	
	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	B	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	B	
	天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス化粧保温筒	m	C	天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス化粧保温筒	m	C	
	暗渠内（ピット内を含む。）	着色アルミガラスクロス	m	D	暗渠内（ピット内を含む。）	着色アルミガラスクロス	m	D	
	多湿箇所、屋外露出	ステンレス鋼板	m	E	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）、浴室及び厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	ステンレス鋼板	m	E	
冷水・冷温水管（膨張管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	合成樹脂製カバー1	m	F①	屋内露出（一般居室、廊下）	合成樹脂製カバー1	m	F①	
		合成樹脂製カバー2	m	F②		合成樹脂製カバー2	m	F②	
	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	G	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	G	
	天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	H	天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	H	
	暗渠内（ピット内を含む。）	着色アルミガラスクロス	m	I	暗渠内（ピット内を含む。）	着色アルミガラスクロス	m	I	
	多湿箇所、屋外露出	ステンレス鋼板	m	J	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）、浴室及び厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	ステンレス鋼板	m	J	
蒸気管（低圧（0.1MPa未満）の蒸気）	屋内露出（一般居室、廊下）	合成樹脂製カバー1	m	K①	屋内露出（一般居室、廊下）	合成樹脂製カバー1	m	K①	
		合成樹脂製カバー2	m	K②		合成樹脂製カバー2	m	K②	
	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	L	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	L	
	天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス化粧保温筒	m	M	天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス化粧保温筒	m	M	
	暗渠内（ピット内を含む。）	着色アルミガラスクロス	m	N	暗渠内（ピット内を含む。）	着色アルミガラスクロス	m	N	
	多湿箇所、屋外露出	ステンレス鋼板	m	O	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。）、浴室及び厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない。）	ステンレス鋼板	m	O	

（注）1. 保温の施工箇所の多湿箇所は、浴室、厨房等を含む。なお、厨房の天井内は含まない。
2. 保温の施工箇所の屋外露出は、バルコニー及び開放廊下を含む。

（注）補正市場単価は、附表M5～附表M7による。

改定後					改定前											
【保温工事（配管）】					【機械設備工事】											
参考歩掛り（グラスウール）					**参考歩掛り**（グラスウール）											
項目	摘	要	単位	歩掛り記号	表番号	項目	摘	要	単位	歩掛り記号	表番号					
給水管、排水管、給湯管及び温水管（膨張管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	合成樹脂製カバー1	m	A①g	表RM-1-11	屋内露出（一般居室、廊下）	合成樹脂製カバー1	m	A①g	表RM-1-11	屋内露出（一般居室、廊下）	合成樹脂製カバー1	m	A①g		
		合成樹脂製カバー2	m	A②g			合成樹脂製カバー2	m	A②g							
	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	B①g		機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	B①g		機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	B①g		
		アルミガラス化粧原紙	m	B②g			アルミガラス化粧原紙	m	B②g							
	天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	C①g		天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	C①g		天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	C①g		
		アルミガラス化粧保温筒	m	C②g			アルミガラス化粧保温筒	m	C②g							
	暗渠内（ピット内を含む。）	着色アルミガラスクロス	m	Dg		暗渠内（ピット内を含む。）	着色アルミガラスクロス	m	Dg		暗渠内（ピット内を含む。）	着色アルミガラスクロス	m	Dg		
		多湿箇所、屋外露出	カラー亜鉛鉄板	m			E①g	多湿箇所、屋外露出	カラー亜鉛鉄板			m	E①g	多湿箇所、屋外露出	カラー亜鉛鉄板	m
	溶融アルミニウム亜鉛鉄板		m	E②g		溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m		E②g							
	ステンレス鋼板		m	E③g		ステンレス鋼板	m		E③g							
冷水・冷温水管（膨張管を含む。）及び冷媒管	屋内露出（一般居室、廊下）	合成樹脂製カバー1	m	F①g	表RM-1-12	屋内露出（一般居室、廊下）	合成樹脂製カバー1	m	F①g	表RM-1-12	屋内露出（一般居室、廊下）	合成樹脂製カバー1	m	F①g		
		合成樹脂製カバー2	m	F②g			合成樹脂製カバー2	m	F②g							
	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	G①g		機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	G①g		機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	G①g		
		アルミガラス化粧原紙	m	G②g			アルミガラス化粧原紙	m	G②g							
	天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	Hg		天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	Hg		天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	Hg		
		暗渠内（ピット内を含む。）	着色アルミガラスクロス	m			Ig	暗渠内（ピット内を含む。）	着色アルミガラスクロス			m	Ig	暗渠内（ピット内を含む。）	着色アルミガラスクロス	m
	カラー亜鉛鉄板		m	J①g		多湿箇所、屋外露出	カラー亜鉛鉄板		m		J①g	多湿箇所、屋外露出	カラー亜鉛鉄板		m	J①g
	溶融アルミニウム亜鉛鉄板		m	J②g			溶融アルミニウム亜鉛鉄板		m		J②g					
	ステンレス鋼板	m	J③g	ステンレス鋼板			m	J③g								
	蒸気管（低圧（0.1MPa未満）の蒸気）	屋内露出（一般居室、廊下）	合成樹脂製カバー1	m		K①g	表RM-1-13	屋内露出（一般居室、廊下）	合成樹脂製カバー1		m	K①g	表RM-1-13	屋内露出（一般居室、廊下）	合成樹脂製カバー1	m
合成樹脂製カバー2			m	K②g	合成樹脂製カバー2	m			K②g							
機械室、書庫、倉庫		アルミガラスクロス	m	L①g	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス		m	L①g	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m		L①g		
		アルミガラス化粧原紙	m	L②g		アルミガラス化粧原紙		m	L②g							
天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中		アルミガラスクロス	m	M①g	天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス		m	M①g	天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m		M①g		
		アルミガラス化粧保温筒	m	M②g		アルミガラス化粧保温筒		m	M②g							
暗渠内（ピット内を含む。）		着色アルミガラスクロス	m	Ng	暗渠内（ピット内を含む。）	着色アルミガラスクロス		m	Ng	暗渠内（ピット内を含む。）	着色アルミガラスクロス	m		Ng		
		多湿箇所、屋外露出	カラー亜鉛鉄板	m		O①g		多湿箇所、屋外露出	カラー亜鉛鉄板		m	O①g		多湿箇所、屋外露出	カラー亜鉛鉄板	m
溶融アルミニウム亜鉛鉄板			m	O②g	溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m			O②g							
ステンレス鋼板			m	O③g	ステンレス鋼板	m			O③g							

(注) 1. 保温の施工箇所の多湿箇所は、浴室、厨房等を含む。なお、厨房の天井内は含まない。
2. 保温の施工箇所の屋外露出は、バルコニー及び開放廊下を含む。

改定後						改定前										
参考歩掛り (ロックウール)						**参考歩掛り** (ロックウール)										
項目	摘	要	単位	歩掛り記号	表番号	項目	摘	要	単位	歩掛り記号	表番号					
給水管、排水管、給湯管及び温水管 (膨張管を含む。)	屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1	m	A①r	表RM-1-8	屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1	m	A①r	表RM-1-8	合成樹脂製カバー2	m	A②r			
		合成樹脂製カバー2	m	A②r												
	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	B①r		機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	B①r		アルミガラス化粧原紙	m	B②r			
		アルミガラス化粧原紙	m	B②r												
	天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	C①r		天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	C①r		アルミガラス化粧保温筒	m	C②r			
		アルミガラス化粧保温筒	m	C②r												
	暗渠内(ピット内を含む。)	着色アルミガラスクロス	m	Dr		暗渠内(ピット内を含む。)	着色アルミガラスクロス	m	Dr		屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)、浴室及び厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)	カラー亜鉛鉄板	m	E①r		
	多湿箇所、屋外露出	カラー亜鉛鉄板	m	E①r		多湿箇所、屋外露出	溶解アルミニウム亜鉛鉄板	m	E②r			溶解アルミニウム亜鉛鉄板	m	E②r		
		溶解アルミニウム亜鉛鉄板	m	E②r			ステンレス鋼板	m	E③r			ステンレス鋼板	m	E③r		
		ステンレス鋼板	m	E③r												
冷水・冷温水管 (膨張管を含む。)及び冷媒管	屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1	m	F①r	表RM-1-9	屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1	m	F①r	表RM-1-9	合成樹脂製カバー2	m	F②r			
		合成樹脂製カバー2	m	F②r												
	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	G①r		機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	G①r		アルミガラス化粧原紙	m	G②r			
		アルミガラス化粧原紙	m	G②r												
	天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	Hr		天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	Hr		屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)、浴室及び厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)	カラー亜鉛鉄板	m	J①r		
		着色アルミガラスクロス	m	Ir			多湿箇所、屋外露出	溶解アルミニウム亜鉛鉄板	m			J②r	溶解アルミニウム亜鉛鉄板	m	J②r	
	カラー亜鉛鉄板	m	J①r	ステンレス鋼板		m		J③r	ステンレス鋼板			m	J③r			
	溶解アルミニウム亜鉛鉄板	m	J②r													
	蒸気管 (低圧(0.1MPa未満)の蒸気)	屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1	m		K①r	表RM-1-10	屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1		m	K①r	表RM-1-10	合成樹脂製カバー2	m	K②r
			合成樹脂製カバー2	m		K②r										
機械室、書庫、倉庫		アルミガラスクロス	m	L①r	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス		m	L①r	アルミガラス化粧原紙	m	L②r				
		アルミガラス化粧原紙	m	L②r												
天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中		アルミガラスクロス	m	M①r	天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス		m	M①r	アルミガラス化粧保温筒	m	M②r				
		アルミガラス化粧保温筒	m	M②r												
暗渠内(ピット内を含む。)		着色アルミガラスクロス	m	Nr	暗渠内(ピット内を含む。)	着色アルミガラスクロス		m	Nr	屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)、浴室及び厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)	カラー亜鉛鉄板	m		O①r		
多湿箇所、屋外露出		カラー亜鉛鉄板	m	O①r	多湿箇所、屋外露出	溶解アルミニウム亜鉛鉄板		m	O②r		溶解アルミニウム亜鉛鉄板	m		O②r		
		溶解アルミニウム亜鉛鉄板	m	O②r		ステンレス鋼板		m	O③r		ステンレス鋼板	m		O③r		
		ステンレス鋼板	m	O③r												

(注) 1. 保温の施工箇所の多湿箇所は、浴室、厨房等を含む。なお、厨房の天井内は含まない。
2. 保温の施工箇所の屋外露出は、バルコニー及び開放廊下を含む。

改定後						改定前					
参考歩掛り (ポリスチレンフォーム)						**参考歩掛り** (ポリスチレンフォーム)					
項目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号		項目	摘要	単位	歩掛り記号	表番号	
給水管、排水管	屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1	m	A①p	表RM-1-4	屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1	m	A①p	表RM-1-4	
		合成樹脂製カバー2	m	A②p			合成樹脂製カバー2	m	A②p		
	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	Bp		機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	Bp		
	天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	C①p		天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	C①p		
		アルミガラスクロス化粧保温筒	m	C②p			アルミガラスクロス化粧保温筒	m	C②p		
	暗渠内(ピット内を含む。)	着色アルミガラスクロス	m	Dp		暗渠内(ピット内を含む。)	着色アルミガラスクロス	m	Dp		
	多湿箇所、屋外露出	カラー亜鉛鉄板	m	E①p		多湿箇所、屋外露出	カラー亜鉛鉄板	m	E①p		
溶融アルミニウム亜鉛鉄板		m	E②p	溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m		E②p				
ステンレス鋼板		m	E③p	ステンレス鋼板	m		E③p				
冷水・冷温水管 (膨張管を含む。)	屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1	m	F①p	表RM-1-5	屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1	m	F①p	表RM-1-5	
		合成樹脂製カバー2	m	F②p			合成樹脂製カバー2	m	F②p		
	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	Gp		機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	Gp		
	天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	Hp		天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	Hp		
	暗渠内(ピット内を含む。)	着色アルミガラスクロス	m	Ip		暗渠内(ピット内を含む。)	着色アルミガラスクロス	m	Ip		
	多湿箇所、屋外露出	カラー亜鉛鉄板	m	J①p		多湿箇所、屋外露出	カラー亜鉛鉄板	m	J①p		
		溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m	J②p			溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m	J②p		
ステンレス鋼板		m	J③p	ステンレス鋼板	m		J③p				
冷水管 (冷水温度2~4℃)	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	Pp	表RM-1-6	冷水管 (冷水温度2~4℃)	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	Pp	表RM-1-6
ブライン管	屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1	m	Q①p	表RM-1-7	屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1	m	Q①p	表RM-1-7	
		合成樹脂製カバー2	m	Q②p			合成樹脂製カバー2	m	Q②p		
	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	Rp		機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	Rp		
	天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	Sp		天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	Sp		
	暗渠内(ピット内を含む。)	着色アルミガラスクロス	m	Tp		暗渠内(ピット内を含む。)	着色アルミガラスクロス	m	Tp		
	多湿箇所、屋外露出	カラー亜鉛鉄板	m	U①p		多湿箇所、屋外露出	カラー亜鉛鉄板	m	U①p		
		溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m	U②p			溶融アルミニウム亜鉛鉄板	m	U②p		
ステンレス鋼板		m	U③p	ステンレス鋼板	m		U③p				

(注) 1. 保温の施工箇所の多湿箇所は、浴室、厨房等を含む。なお、厨房の天井内は含まない。
2. 保温の施工箇所の屋外露出は、バルコニー及び開放廊下を含む。

改定後							改定前						
補正市場単価 (グラスウール)							**補正市場単価** (グラスウール)						
項目	摘要		単位	単価記号	市場単価	算定式	項目	摘要		単位	単価記号	市場単価	算定式
給水管、排水管、給湯管及び温水管 (膨張管を含む。)	機械室、書庫、倉庫	アルミガラス化粧原紙	m	-	B	B②g÷B①g	給水管、排水管、給湯管及び温水管 (膨張管を含む。)	機械室、書庫、倉庫	アルミガラス化粧原紙	m	-	B	B②g÷B①g
	天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	-	C	C①g÷C②g		天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	-	C	C①g÷C②g
	多湿箇所、屋外露出	カラー亜鉛鉄板	m	-	E	E①g÷E③g		屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)、浴室及び厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)	カラー亜鉛鉄板	m	-	E	E①g÷E③g
		溶融アルミニウム-亜鉛鉄板	m	-	E	E②g÷E③g			溶融アルミニウム-亜鉛鉄板	m	-	E	E②g÷E③g
冷水・冷温水管 (膨張管を含む。)	機械室、書庫、倉庫	アルミガラス化粧原紙	m	-	G	G②g÷G①g	冷水・冷温水管 (膨張管を含む。)	機械室、書庫、倉庫	アルミガラス化粧原紙	m	-	G	G②g÷G①g
	多湿箇所、屋外露出	カラー亜鉛鉄板	m	-	J	J①g÷J③g		屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)、浴室及び厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)	カラー亜鉛鉄板	m	-	J	J①g÷J③g
		溶融アルミニウム-亜鉛鉄板	m	-	J	J②g÷J③g			溶融アルミニウム-亜鉛鉄板	m	-	J	J②g÷J③g
蒸気管 (低圧(0.1MPa未満)の蒸気)	機械室、書庫、倉庫	アルミガラス化粧原紙	m	-	L	L②g÷L①g	蒸気管 (低圧(0.1MPa未満)の蒸気)	機械室、書庫、倉庫	アルミガラス化粧原紙	m	-	L	L②g÷L①g
	天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	-	M	M①g÷M②g		天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	-	M	M①g÷M②g
	多湿箇所、屋外露出	カラー亜鉛鉄板	m	-	O	O①g÷O③g		屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)、浴室及び厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)	カラー亜鉛鉄板	m	-	O	O①g÷O③g
		溶融アルミニウム-亜鉛鉄板	m	-	O	O②g÷O③g			溶融アルミニウム-亜鉛鉄板	m	-	O	O②g÷O③g
冷媒管	屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1	m	-	F①	-	屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1	m	-	F①		
		合成樹脂製カバー2	m	-	F②			合成樹脂製カバー2	m	-	F②		
	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	-	G		機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	-	G		
	天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	-	H		天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	-	H		
	暗渠内(ピット内を含む。)	着色アルミガラスクロス	m	-	I		暗渠内(ピット内を含む。)	着色アルミガラスクロス	m	-	I		
	多湿箇所、屋外露出	ステンレス鋼板	m	-	J		屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)、浴室及び厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)	ステンレス鋼板	m	-	J		
	機械室、書庫、倉庫	アルミガラス化粧原紙	m	-	G		G②g÷G①g	機械室、書庫、倉庫	アルミガラス化粧原紙	m	-	G	G②g÷G①g
	多湿箇所、屋外露出	カラー亜鉛鉄板	m	-	J		J①g÷J③g	屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)、浴室及び厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)	カラー亜鉛鉄板	m	-	J	J①g÷J③g
		溶融アルミニウム-亜鉛鉄板	m	-	J		J②g÷J③g		溶融アルミニウム-亜鉛鉄板	m	-	J	J②g÷J③g
(注) 1. 保温の施工箇所の多湿箇所は、浴室、厨房等を含む。なお、厨房の天井内は含まない。													
2. 保温の施工箇所の屋外露出は、バルコニー及び開放廊下を含む。													

改定後							改定前						
【保温工事(配管)】							**補正市場単価** (ロックール)						
補正市場単価 (ロックール)							**補正市場単価** (ロックール)						
【機械設備工事】 附表1-M6													
項目	摘要	単位	単価記号	市場単価	算定式		項目	摘要	単位	単価記号	市場単価	算定式	
給水管、排水管、給湯管及び温水管(膨張管を含む。)	屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1	m	-	A①	$A①r \div A①g$	屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1	m	-	A①	$A①r \div A①g$	
		合成樹脂製カバー2	m	-	A②	$A②r \div A②g$		合成樹脂製カバー2	m	-	A②	$A②r \div A②g$	
	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	rB	B	$B①r \div B①g$	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	rB	B	$B①r \div B①g$	
		アルミガラス化粧原紙	m	-	rB	$B②r \div B①r$		アルミガラス化粧原紙	m	-	rB	$B②r \div B①r$	
	天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	-	rC	$C①r \div C②r$	天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	-	rC	$C①r \div C②r$	
		アルミガラス化粧保温筒	m	rC	C	$C②r \div C②g$		アルミガラス化粧保温筒	m	rC	C	$C②r \div C②g$	
	暗渠内(ピット内を含む。)	着色アルミガラスクロス	m	-	D	$Dr \div Dg$	暗渠内(ピット内を含む。)	着色アルミガラスクロス	m	-	D	$Dr \div Dg$	
		カラー亜鉛鉄板	m	-	rE	$E①r \div E③r$		カラー亜鉛鉄板	m	-	rE	$E①r \div E③r$	
	多湿箇所、屋外露出	溶融アルミニウム-亜鉛鉄板	m	-	rE	$E②r \div E③r$	多湿箇所、屋外露出	溶融アルミニウム-亜鉛鉄板	m	-	rE	$E②r \div E③r$	
		ステンレス鋼板	m	rE	E	$E③r \div E③g$		ステンレス鋼板	m	rE	E	$E③r \div E③g$	
カラー亜鉛鉄板		m	-	rE	$E①r \div E③r$	カラー亜鉛鉄板		m	-	rE	$E①r \div E③r$		
冷水・冷温水管(膨張管を含む。)	屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1	m	-	F①	$F①r \div F①g$	屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1	m	-	F①	$F①r \div F①g$	
		合成樹脂製カバー2	m	-	F②	$F②r \div F②g$		合成樹脂製カバー2	m	-	F②	$F②r \div F②g$	
	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	rG	G	$G①r \div G①g$	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	rG	G	$G①r \div G①g$	
		アルミガラス化粧原紙	m	-	rG	$G②r \div G①r$		アルミガラス化粧原紙	m	-	rG	$G②r \div G①r$	
	天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	-	H	$Hr \div Hg$	天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	-	H	$Hr \div Hg$	
		着色アルミガラスクロス	m	-	I	$Ir \div Ig$		着色アルミガラスクロス	m	-	I	$Ir \div Ig$	
	多湿箇所、屋外露出	カラー亜鉛鉄板	m	-	rJ	$J①r \div J③r$	多湿箇所、屋外露出	カラー亜鉛鉄板	m	-	rJ	$J①r \div J③r$	
		溶融アルミニウム-亜鉛鉄板	m	-	rJ	$J②r \div J③r$		溶融アルミニウム-亜鉛鉄板	m	-	rJ	$J②r \div J③r$	
		ステンレス鋼板	m	rJ	J	$J③r \div J③g$		ステンレス鋼板	m	rJ	J	$J③r \div J③g$	
	蒸気管(低圧(0.1MPa未満)の蒸気)	屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1	m	-	K①	$K①r \div K①g$	屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1	m	-	K①	$K①r \div K①g$
合成樹脂製カバー2			m	-	K②	$K②r \div K②g$	合成樹脂製カバー2		m	-	K②	$K②r \div K②g$	
機械室、書庫、倉庫		アルミガラスクロス	m	rL	L	$L①r \div L①g$	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	rL	L	$L①r \div L①g$	
		アルミガラス化粧原紙	m	-	rL	$L②r \div L①r$		アルミガラス化粧原紙	m	-	rL	$L②r \div L①r$	
天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中		アルミガラスクロス	m	-	rM	$M①r \div M②r$	天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	-	rM	$M①r \div M②r$	
		アルミガラス化粧保温筒	m	rM	M	$M②r \div M②g$		アルミガラス化粧保温筒	m	rM	M	$M②r \div M②g$	
暗渠内(ピット内を含む。)		着色アルミガラスクロス	m	-	N	$Nr \div Ng$	暗渠内(ピット内を含む。)	着色アルミガラスクロス	m	-	N	$Nr \div Ng$	
		カラー亜鉛鉄板	m	-	rO	$O①r \div O③r$		カラー亜鉛鉄板	m	-	rO	$O①r \div O③r$	
多湿箇所、屋外露出		溶融アルミニウム-亜鉛鉄板	m	-	rO	$O②r \div O③r$	多湿箇所、屋外露出	溶融アルミニウム-亜鉛鉄板	m	-	rO	$O②r \div O③r$	
		ステンレス鋼板	m	rO	O	$O③r \div O③g$		ステンレス鋼板	m	rO	O	$O③r \div O③g$	
	カラー亜鉛鉄板	m	-	rO	$O①r \div O③r$	カラー亜鉛鉄板		m	-	rO	$O①r \div O③r$		
冷媒管	屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1	m	-	F①	$F①r \div F①g$	屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1	m	-	F①	$F①r \div F①g$	
		合成樹脂製カバー2	m	-	F②	$F②r \div F②g$		合成樹脂製カバー2	m	-	F②	$F②r \div F②g$	
	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	rG	G	$G①r \div G①g$	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	rG	G	$G①r \div G①g$	
		アルミガラス化粧原紙	m	-	rG	$G②r \div G①r$		アルミガラス化粧原紙	m	-	rG	$G②r \div G①r$	
	天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	-	H	$Hr \div Hg$	天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	-	H	$Hr \div Hg$	
		着色アルミガラスクロス	m	-	I	$Ir \div Ig$		着色アルミガラスクロス	m	-	I	$Ir \div Ig$	
	多湿箇所、屋外露出	カラー亜鉛鉄板	m	-	rJ	$J①r \div J③r$	多湿箇所、屋外露出	カラー亜鉛鉄板	m	-	rJ	$J①r \div J③r$	
		溶融アルミニウム-亜鉛鉄板	m	-	rJ	$J②r \div J③r$		溶融アルミニウム-亜鉛鉄板	m	-	rJ	$J②r \div J③r$	
		ステンレス鋼板	m	rJ	J	$J③r \div J③g$		ステンレス鋼板	m	rJ	J	$J③r \div J③g$	

(注) 1. 保温の施工箇所の多湿箇所は、浴室、厨房等を含む。なお、厨房の天井内は含まない。

2. 保温の施工箇所の屋外露出は、バルコニー及び開放廊下を含む。

改定後							改定前						
補正市場単価 (ポリスチレンフォーム)							**補正市場単価** (ポリスチレンフォーム)						
項目	摘要		単位	単価記号	市場単価	算定式	項目	摘要		単位	単価記号	市場単価	算定式
給水管、排水管	屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1	m	-	A①	A①p÷A①g	屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1	m	-	A①	A①p÷A①g	
		合成樹脂製カバー2	m	-	A②	A②p÷A②g		合成樹脂製カバー2	m	-	A②	A②p÷A②g	
	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	-	B	Bp ÷ B①g	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	-	B	Bp ÷ B①g	
	天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	-	pC	C①p÷C②p	天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	-	pC	C①p÷C②p	
		アルミガラスクロス化粧保温筒	m	pC	C	C②p÷C②g		アルミガラスクロス化粧保温筒	m	pC	C	C②p÷C②g	
	暗渠内(ピット内を含む。)	着色アルミガラスクロス	m	-	D	Dp÷Dg	暗渠内(ピット内を含む。)	着色アルミガラスクロス	m	-	D	Dp÷Dg	
	多湿箇所、屋外露出	カラー亜鉛鉄板	m	-	pE	E①p÷E③p	屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)、浴室及び厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)	カラー亜鉛鉄板	m	-	pE	E①p÷E③p	
		溶融アルミニウム-亜鉛鉄板	m	-	pE	E②p÷E③p		溶融アルミニウム-亜鉛鉄板	m	-	pE	E②p÷E③p	
		ステンレス鋼板	m	pE	E	E③p÷E③g		ステンレス鋼板	m	pE	E	E③p÷E③g	
冷水・冷温水管 (膨張管を含む。)	屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1	m	pF①	F①	F①p÷F①g	屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1	m	pF①	F①	F①p÷F①g	
		合成樹脂製カバー2	m	pF②	F②	F②p÷F②g		合成樹脂製カバー2	m	pF②	F②	F②p÷F②g	
	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	pG	G	Gp ÷ G①g	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	pG	G	Gp ÷ G①g	
	天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	pH	H	Hp ÷ Hg	天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	pH	H	Hp ÷ Hg	
	暗渠内(ピット内を含む。)	着色アルミガラスクロス	m	pI	I	Ip ÷ Ig	暗渠内(ピット内を含む。)	着色アルミガラスクロス	m	pI	I	Ip ÷ Ig	
	多湿箇所、屋外露出	カラー亜鉛鉄板	m	-	pJ	J①p÷J③p	屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)、浴室及び厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)	カラー亜鉛鉄板	m	-	pJ	J①p÷J③p	
		溶融アルミニウム-亜鉛鉄板	m	-	pJ	J②p÷J③p		溶融アルミニウム-亜鉛鉄板	m	-	pJ	J②p÷J③p	
		ステンレス鋼板	m	pJ	J	J③p÷J③g		ステンレス鋼板	m	pJ	J	J③p÷J③g	
	冷水管 (冷水温度2~4℃)	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	-	pG	Pp ÷ Gp	冷水管 (冷水温度2~4℃)	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	-	pG
ブライン管	屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1	m	-	pF①	Q①p÷F①p	屋内露出(一般居室、廊下)	合成樹脂製カバー1	m	-	pF①	Q①p÷F①p	
		合成樹脂製カバー2	m	-	pF②	Q②p÷F②p		合成樹脂製カバー2	m	-	pF②	Q②p÷F②p	
	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	-	pG	Rp ÷ Gp	機械室、書庫、倉庫	アルミガラスクロス	m	-	pG	Rp ÷ Gp	
	天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	-	pH	Sp ÷ Hp	天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	アルミガラスクロス	m	-	pH	Sp ÷ Hp	
	暗渠内(ピット内を含む。)	着色アルミガラスクロス	m	-	pI	Tp ÷ Ip	暗渠内(ピット内を含む。)	着色アルミガラスクロス	m	-	pI	Tp ÷ Ip	
	多湿箇所、屋外露出	カラー亜鉛鉄板	m	-	pJ	U①p÷J③p	屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む。)、浴室及び厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)	カラー亜鉛鉄板	m	-	pJ	U①p÷J③p	
		溶融アルミニウム-亜鉛鉄板	m	-	pJ	U②p÷J③p		溶融アルミニウム-亜鉛鉄板	m	-	pJ	U②p÷J③p	
		ステンレス鋼板	m	-	pJ	U③p÷J③p		ステンレス鋼板	m	-	pJ	U③p÷J③p	
	(注) 1. 保温の施工箇所の多湿箇所は、浴室、厨房等を含む。なお、厨房の天井内は含まない。 2. 保温の施工箇所の屋外露出は、バルコニー及び開放廊下を含む。												
【衛生機械器具】 (略)							【衛生機械器具】 (略)						

附表2 補正単位施工単価算出方法

【鉄筋】～【型枠（耐震改修）】（略）

【配線工事1】600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシーケープル（EM-EEF）

補正単位施工単価

細目	摘要	単位	補正式
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシーケープル（EM-EEF） ころかし配線 2.6mm-2C	m	B × 1.4
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシーケープル（EM-EEF） ころかし配線 2.6mm-3C	m	D × 1.4
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシーケープル（EM-EEF） 木造部分にサト止め又はステー止め 1.6mm-2C	m	A × 1.7
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシーケープル（EM-EEF） 木造部分にサト止め又はステー止め 2.0mm-2C	m	B × 1.6
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシーケープル（EM-EEF） 木造部分にサト止め又はステー止め 2.6mm-2C	m	B × 2.1
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシーケープル（EM-EEF） 木造部分にサト止め又はステー止め 1.6mm-3C	m	C × 1.6
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシーケープル（EM-EEF） 木造部分にサト止め又はステー止め 2.0mm-3C	m	D × 1.5
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシーケープル（EM-EEF） 木造部分にサト止め又はステー止め 2.6mm-3C	m	D × 2
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシーケープル（EM-EEF） コンクリート部分にサト止め（カルブラダ含む） 1.6mm-2C	m	A × 2.1
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシーケープル（EM-EEF） コンクリート部分にサト止め（カルブラダ含む） 2.0mm-2C	m	B × 2
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシーケープル（EM-EEF） コンクリート部分にサト止め（カルブラダ含む） 2.6mm-2C	m	B × 2.7
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシーケープル（EM-EEF） コンクリート部分にサト止め（カルブラダ含む） 1.6mm-3C	m	C × 2
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシーケープル（EM-EEF） コンクリート部分にサト止め（カルブラダ含む） 2.0mm-3C	m	D × 1.9
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシーケープル（EM-EEF） コンクリート部分にサト止め（カルブラダ含む） 2.6mm-3C	m	D × 2.5
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシーケープル（EM-EEF） ケーブルラック内配線 1.6mm-2C	m	A × 1.4
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシーケープル（EM-EEF） ケーブルラック内配線 2.0mm-2C	m	B × 1.4
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシーケープル（EM-EEF） ケーブルラック内配線 2.6mm-2C	m	B × 1.8
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシーケープル（EM-EEF） ケーブルラック内配線 1.6mm-3C	m	C × 1.4
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシーケープル（EM-EEF） ケーブルラック内配線 2.0mm-3C	m	D × 1.3
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシーケープル（EM-EEF） ケーブルラック内配線 2.6mm-3C	m	D × 1.7
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシーケープル（EM-EEF） 管内配線 1.6mm-2C	m	A × 1.2
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシーケープル（EM-EEF） 管内配線 2.0mm-2C	m	B × 1.2
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシーケープル（EM-EEF） 管内配線 2.6mm-2C	m	B × 1.6
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシーケープル（EM-EEF） 管内配線 1.6mm-3C	m	C × 1.2
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシーケープル（EM-EEF） 管内配線 2.0mm-3C	m	D × 1.2
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシーケープル（EM-EEF） 管内配線 2.6mm-3C	m	D × 1.5
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシーケープル（EM-EEF） PF及びCD管内配線 1.6mm-2C	m	A × 1.1
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシーケープル（EM-EEF） PF及びCD管内配線 2.0mm-2C	m	B × 1.1
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシーケープル（EM-EEF） PF及びCD管内配線 2.6mm-2C	m	B × 1.5
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシーケープル（EM-EEF） PF及びCD管内配線 1.6mm-3C	m	C × 1.1
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシーケープル（EM-EEF） PF及びCD管内配線 2.0mm-3C	m	D × 1.1

附表2 補正単位施工単価算出方法

【鉄筋】～【型枠（耐震改修）】（略）

（新設）

改定後

改定前

** 補正単位施工単価 **

細目	摘要	単位	補正式
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル (EM-EEF) PF及びCD管内配線 2.6mm-3C	m	D × 1.4

** 上表の補正式の記号は次表による **

細目	摘要	単位	単価記号
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル (EM-EEF) ころがし配線 1.6mm-2C	m	A
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル (EM-EEF) ころがし配線 2.0mm-2C	m	B
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル (EM-EEF) ころがし配線 1.6mm-3C	m	C
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル (EM-EEF) ころがし配線 2.0mm-3C	m	D

(新設)

改定後				改定前			
<u>【配線工事2】アース線付600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEFG)</u>				<u>(新設)</u>			
** 補正単位施工単価 **							
細目	摘要	単位	補正式				
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEFG) ころがし配線 2.0mm-2C+1.6-1C	m	A	×	1		
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEFG) ころがし配線 2.6mm-2C+1.6-1C	m	B	×	1		
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEFG) 木造部分にサドル止め又はステップル止め 2.0mm-2C+1.6-1C	m	A	×	1.5		
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEFG) 木造部分にサドル止め又はステップル止め 2.6mm-2C+1.6-1C	m	B	×	1.49		
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEFG) コンクリート部分にサドル止め(カルフラグ含む) 2.0mm-2C+1.6-1C	m	A	×	1.94		
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEFG) コンクリート部分にサドル止め(カルフラグ含む) 2.6mm-2C+1.6-1C	m	B	×	1.87		
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEFG) ケブルラック内配線 2.0mm-2C+1.6-1C	m	A	×	1.31		
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEFG) ケブルラック内配線 2.6mm-2C+1.6-1C	m	B	×	1.28		
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEFG) 管内配線 2.0mm-2C+1.6-1C	m	A	×	1.15		
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEFG) 管内配線 2.6mm-2C+1.6-1C	m	B	×	1.13		
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEFG) PF及びCD管内配線 2.0mm-2C+1.6-1C	m	A	×	1.06		
アース線付600V絶縁ケーブル	アース線付600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEFG) PF及びCD管内配線 2.6mm-2C+1.6-1C	m	B	×	1.05		
** 上表の補正式の記号は次表による **							
細目	摘要	単位	単価記号				
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) ころがし配線 2.0mm-3C	m	A				
600V絶縁ケーブル	600Vホリエレン絶縁耐燃性ホリエレンシースケープル(EM-EEF) ころがし配線 2.6mm-3C	m	B				